



取扱説明書

【電動リモコン作業機スマモ専用アタッチメント】

際刈リアタッチ SSC-30



本製品を安全に、また正しくお使いいただくために必ず本取扱説明書をお読みください。誤った使い方をすると事故を引き起こすおそれがあります。ご使用前に必ずお読みください。お読みになった後も必ず製品の近くに保管してください。

安全作業で家族も笑顔

目次


はじめに	1
銘板ラベル	2
サービスと保証について	3
安全にお使いいただくために	4
安全ラベル	10
各部の名称	11
取付方法と運転準備	13
際刈リアタッチの取付け	13
際刈リアタッチの刈部高さ調整	18
刈刃回転方向の設定	19
運転方法	20
刈刃を回転させる	20
草刈り作業を行う	22
バッテリーの運用方法	29
点検・整備	31
点検・整備方法と確認箇所	32
配線の外れ・破損・断線の確認	32
異物(土・草など)の確認と清掃方法	32
各種スイッチの確認	34
消耗部品の確認	37
各部締め付け	38
ピン・シャフト類へのグリス塗布	39
ナイロンコードカッターの取り外し・ナイロンコードの交換	39
運搬するとき	42
トラック等への積み降ろし	42
ロープによる固定方法	43
保管するとき	44
長期間使用しないとき	46
トラブルシューティング	47
異常診断機能	49
消耗部品一覧	51
主要諸元	52




はじめに

ササキ電動リモコン作業機 smamo(スマモ)専用際刈リアタッチ SSC-30 をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- ◎この取扱説明書は、際刈リアタッチ(以下本機)の取扱方法と、使用上の注意事項について記載しております。ご使用前には、必ずこの取扱説明書を熟知するまでお読みのうえ、正しくお取り扱いいただき、最良の状態でお使いください。
- ◎本機は電動リモコン作業機 smamo(以下スマモ)に装着し作業をする製品となっております。スマモ付属の取扱説明書及び、本製品以外にご購入された他スマモ専用アタッチ・ユニット等の取扱説明書と併読し、安全で正しい作業をお願い申し上げます。
- ◎コントローラの基本操作は本取扱説明書及びスマモ付属の取扱説明書及びコントローラの取扱説明書を併読し、正しい取り扱い方法を実施してください。

本書では、正しい取り扱いおよび点検・整備に関する重要事項を次の表示で区分し説明しています。

	安全に関わる注意情報を意味しています。
---	---------------------

 危険	取り扱いを誤った場合、死亡または重傷に至る危険が差し迫って生じると想定される場合を示してあります。
 警告	取り扱いを誤った場合、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。
 注意	取り扱いを誤った場合、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。
重要	正しい操作の方法や点検整備上のポイントを示してあります。

- * 仕様変更などにより、本書のイラストや内容が一部本機と異なる場合がありますのでご了承ください。
- * 本書と付属の取扱説明書は大切に保管し、本機を貸与または譲渡される場合は、必ず本書と電動リモコン作業機 smamo 付属の取扱説明書をセットで添付してください。
- * ササキ商品には保証書をおつけしています。保証書もよくお読みいただき、大切に保管してください。
- * 本書を紛失または損傷された場合は、速やかにお買い上げの販売店にご注文ください。

ご不明な点や不具合などありましたら、お早めにお買い上げの販売店にご相談またはお申しつけください。

銘板ラベル

型式名、シリアル番号は問い合わせや部品を注文する際に使用します。

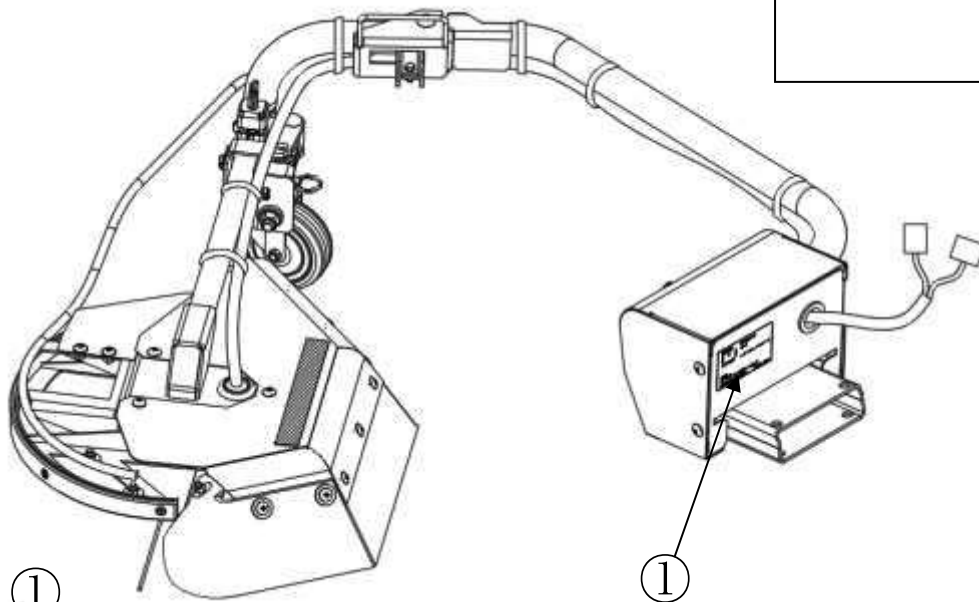
下図の銘板ラベル①をご参照し、型式名②、シリアル番号③を右の欄に記入してください。万一の盗難時のために型式名、シリアル番号などは他の資料にも記録してください。

型式名

シリアル番号

購入年月日

購入先



サービスと保証について

この製品には、保証書が添付してありますので、ご使用前によくご覧ください。

■ ご相談窓口

ご使用中の故障や、ご不審な点およびサービスについてのご用命は、お買い上げいただいた販売店等へご相談ください。

その際、銘板に記載している型式名とシリアル番号をお知らせください。

■ サービスの実施

お買い上げいただきましたご購入先が点検・修理をはじめサービスの相談などをお受けいたします。

なお、部品のご注文の際は、ご購入先に純正部品表を準備しておりますので、そちらで
ご相談ください。



機械の分解・改造は危険ですので、絶対に改造しないでください。

分解・改造した場合や取扱説明書に述べられた正しい使用目的、使用方法と異なる場合は
メーカー保証の対象外となりますのでご注意ください。

▲ 安全にお使いいただくために

- ご使用前に必ず取扱説明書および本機に貼り付けしているラベル類を最後までお読みいただき、正しい操作方法をよくご理解ください。
- 本製品は日本国内仕様です。海外ではご使用にならないでください。
保証の対象外となります。
- 過労時や飲酒、薬物を服用して機体を使用しないでください。
- 使用前点検、定期点検を必ず行ってください。
- 機体を取り扱うときは、必ず安全靴・保護メガネ・滑りにくい手袋を着用してください。
また、作業環境に合わせた安全具（ヘルメットや耳栓など）の装着をしてください。
- 18歳未満の子供や正しい操作方法を知らない人には操作させないでください。
- 悪天候などで視界が悪い時は、作業しないでください。事故の危険性が高くなります。
- バッテリー及び本体に電源が入っている状態で機体を、のぞいたり、手足を近づけたりしないでください。
- 機体に異常な振動・音・においがあるときは停止し、お買い上げいただいた販売店で点検・整備を受けてください。
- 本機は本体表面側からの水の浸入を防ぐ仕様となっておりますが雨天時は作業を行わないでください。作業中に雨が降ってきた場合は速やかに作業を中断し機体を安全な場所へ移動し、コントローラが濡れないようにしてください。
- 刈刃の点検・整備は刈刃の回転が完全に止まったことを確認し、バッテリーの電源を切ってから行ってください。刈刃回転を停止させた直後は、まだ刈刃が回転していますので完全に回転が止まるまで待ってください。
- 公道でのご使用はできません。公道を移動させる際はトラック等に積載し移動してください。公道で作業を行わなくてはならない場合は、お住いの警察署の交通課にて道路使用許可申請を行ってください。

安全にお使いいただくために

- 走行時は路面状況などを十分に確認し、ぬかるみや側溝、水たまり・池などの水分がある路面では走行厳禁です。
- 機体に物を載せたり、人を乗せたりしないでください。大変危険であり、人への事故や機体の破損の原因となります。
- 機体の進行方向側（前進走行中は機体前側、後進走行中は機体後側）での作業や操作は行わないでください。作業者が転倒した時に機体をそのまま走行させると機体にぶつかったり下敷きになり、けがをする恐れがあります。
- 傾斜地で作業をする場合は、機体下側での作業や操作はしないでください。誤って機体が横転した時にぶつかって、けがをする恐れがあります。
- 作業する前にあらかじめ作業範囲内（本機で草刈り作業を行う範囲内）のゴミや角材、空き缶、石、針金などの異物を取り除き、配線や配管などの位置を確認し、その近くで絶対に作業しないでください。間違っって切断してしまう恐れがあります。
- 作業する前にあらかじめ作業範囲内に大きな穴やキャスター・クローラーが乗り越えられない段差があるか確認してください。このような場所を走行すると機械の故障や、転倒する恐れがあります。
- 機体を操作する人以外は作業範囲内に入れないでください。人、動物、自動車、自転車、バイクなど、動くものには十分に注意して絶対に入れないでください。
- 夏場作業では、機体のモータ類にも熱発生の影響が発生します。作業中に高温保護機能が作動し、機体停止することが頻繁に発生する場合は、一旦作業を停止して、気温が下がってから（気温目安：30度以下）作業を開始してください。

バッテリー及びコントローラの使用温度範囲は表面温度で

・バッテリー：-20～50℃ ・コントローラ：-10～60℃

です。表面温度を-10～50℃の範囲内の環境温度で使用してください。

それ以外の温度環境で使用すると故障の原因となり補償対象外となります。

- 機体カバーに、ハンマーや石の様な硬い物で叩いたり、ぶつかけたり、物を載せたりしないでください。特に、バッテリー交換の際に外したカバーへは、物を落としたりしないでください。カバーが破損します。絶対にやらないでください。

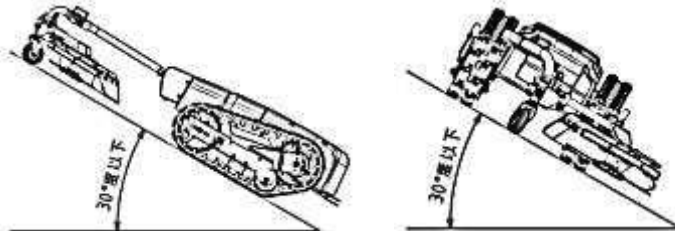
⚠ 安全にお使いいただくために

以下に代表的な注意事項を記載しておりますが、各項ごとに気を付けるポイント等を記載しております。各項の内容も熟読し安全で正しい取り扱いをお願いいたします。

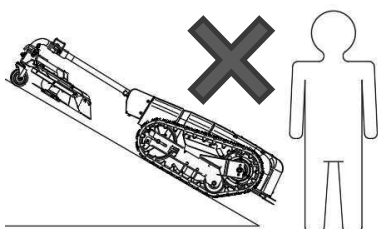


- 刈部を点検・整備する際は必ず本体とコントローラの電源を切ってください。
- 刈刃回転を行う際は機体の近くに人がいないことを十分に確認してください。最低でも機体から半径20m以内に作業員以外の人立ち入らないようにしてください。
特に作業員以外の方は刈刃の回転のタイミングが分からない為、安全な範囲にいる場合でも声掛けなどを行い注意喚起してください。
- 刈刃回転中は決して回転部に近づいたり、覗き込んだりしないでください。周囲を確認し、車や窓ガラス、配管など、飛び石や刈刃に当たり壊れる恐れのある物が無いことを十分に確認してください。また、草刈作業を行う範囲内に作業員以外の人立ち入ったり、機体に近づかせたりしない様にしてください。
- 傾斜地での作業は30°以下であることを確認してください。指示外の角度の傾斜地で作業を行うと機体の姿勢が不安定になり転倒する恐れがあります。また、30°以下であったとしても部分的に凹みがあり30°以上になるような場合や、地面が緩い状態ぬかるんでいる場合は転倒の危険があります。作業姿勢を見ながら危険と判断した場合は機体から離れて一度作業を停止し30°以下の場所へ低速で移動してください。緊急の場合はコントローラと本体の電源を切り、手で引っ張って移動してください。電源を切る場合は斜面に対し機体を横向きにして安定した位置にしてください。また、傾斜地での作業は低速で行い急発進や急停止を行わないでください。
※傾斜地走行の際は必ず際刈リアタッチを草刈作業状態にしてください。

際刈リアタッチを折りたたんだ格納状態のまま傾斜地を走行しないでください。



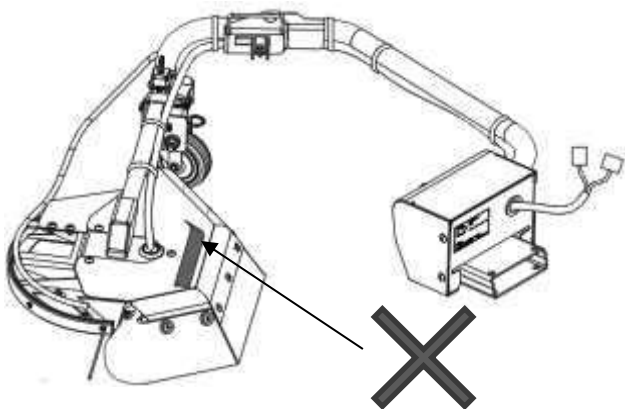
- 傾斜地での作業時は機体の下側に立たないでください。



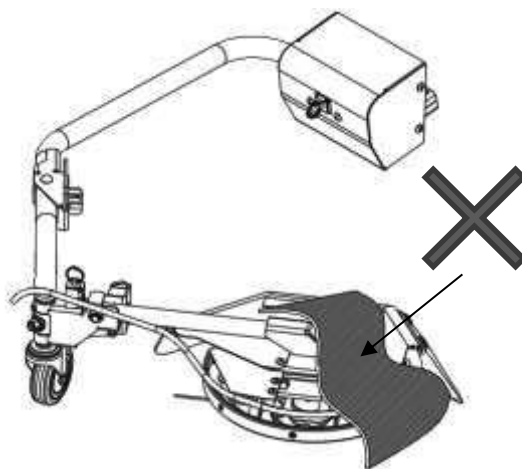
▲ 安全にお使いいただくために

▲ 注意

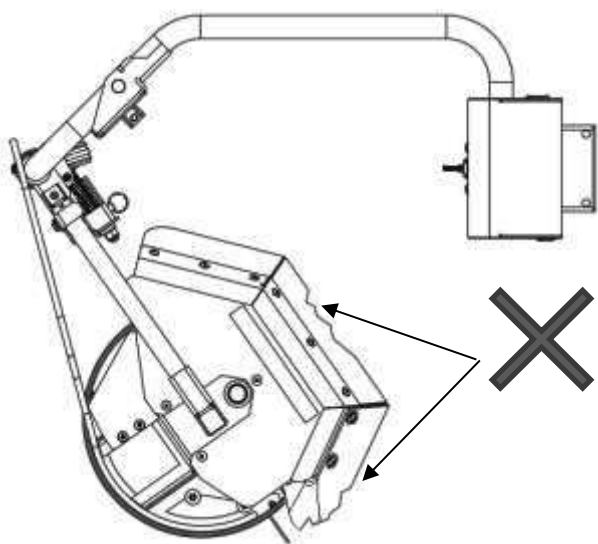
- カバーやラベルなどを外した状態や剥がれかけた状態で作業しないでください。



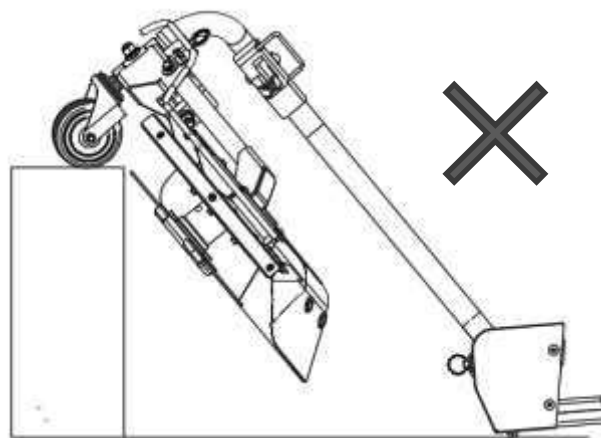
- 機体の上に、人や物を載せないでください。機体の各部支点への負担による機体寿命の低下や、乗せたものの破損、乗せたものが刈刃回転時に刃に当たり飛んでくる恐れがあります。



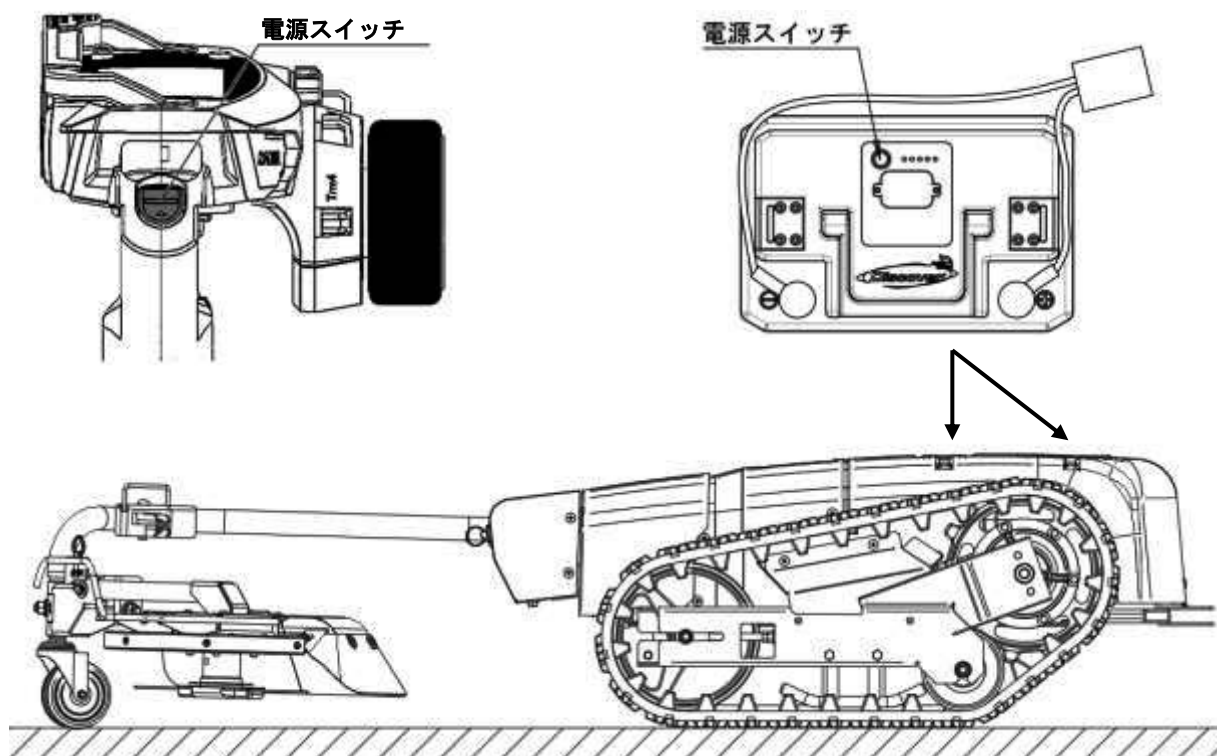
- 使用前には刈刃カバー回りの各種スカート
の破れなどの異常がないかを確認して
ください。破れた状態で使用すると飛散
防止の能力が低下します。



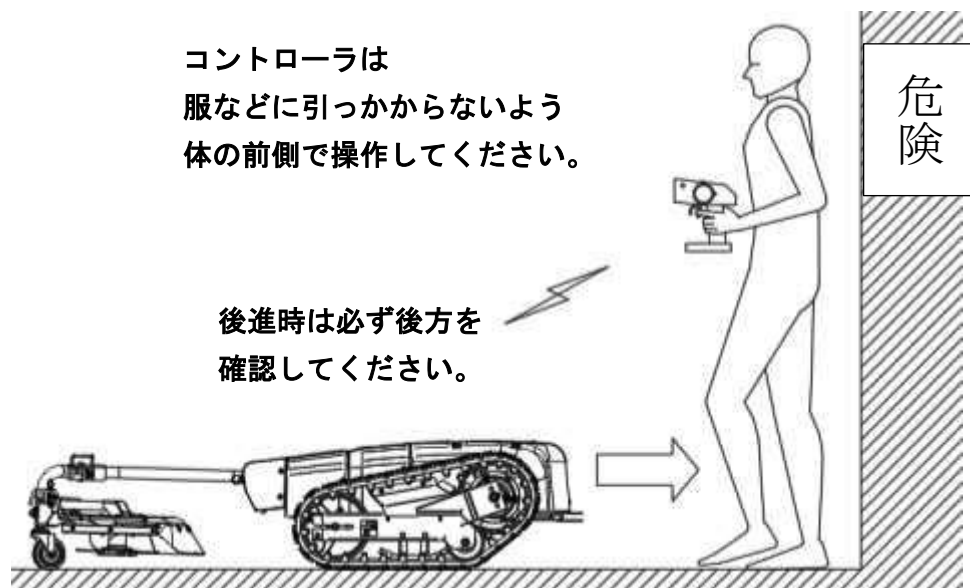
- 機体を立て掛けないでください。不安定な姿勢での保管は機体が倒れてきてケガをする恐れがあります。



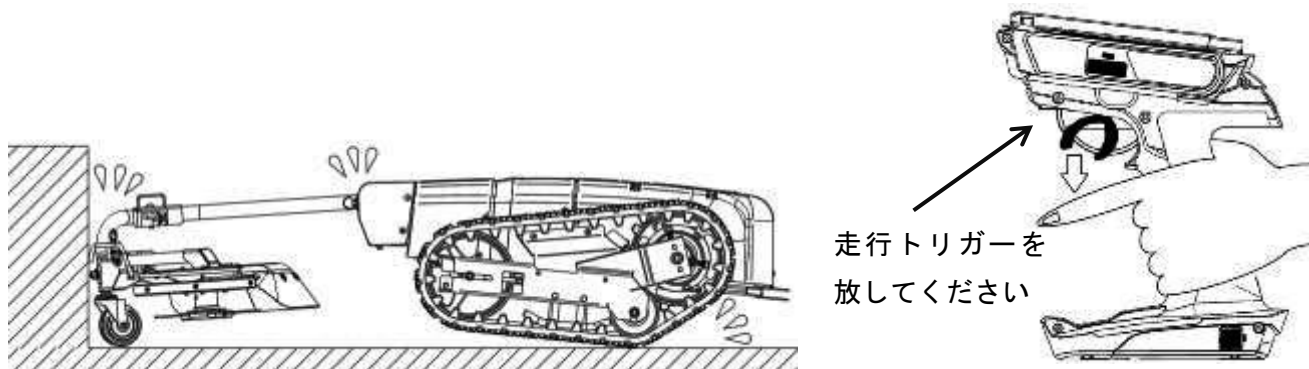
- 機体を駐車するときは平坦な場所に止め、コントローラの電源スイッチを切り、バッテリーの電源スイッチを2~3秒長押しして電源を「OFF」にしてください。



- 移動中は機体周辺に人がいないことを十分に確認し、コントローラをしっかり握り、操作は必ず両手で行ってください。服などに操作部が引っかかると予期せぬ動作をする恐れがあります。誤操作防止のためにも下図のようにスイッチが服などに引っかからない様に体の前側でコントローラを操作してください。また、方向転換時は機体の旋回範囲内に入らないでください。後進時は、足元および後方に十分注意してください。



- クローラがスリップする状態では、走行トリガーを握り続けしないでください。バッテリーやクローラの消耗が早くなります。また、フレームに負荷がかかり機体の寿命を早めてしまう恐れがあります。



- 使用しない時は、バッテリーの電源スイッチとコントローラのスイッチを切ってください。

- 作業後は、機体全体の土や砂、砂利などの異物を取り除いて格納してください。残った土や砂が固まり、次の使用に支障があるばかりでなく、故障の原因になります。また、雨天や湿気の多い時の作業後は機体やバッテリーに付着した水分を十分に取り除いてから格納してください。

- 本機は水洗い可能ですが、高圧洗浄機の使用は厳禁です。使用しないでください。バッテリーを外し、全てのカバーを付けた状態でホースによる放水にてクローラ回りやカバーの表面の汚れを落としてください。水洗後は十分に本体の水滴を取り除いてください。また、水没させないでください。感電や機体の破損につながります。

- 本機体は完全防水ではありません。機体の破損や感電の恐れがあるため、水がある場所は走行厳禁です。特に雨天後の水たまり走行は行わないようにしてください。

- 長期保管の際は、電源コネクタを抜いて、バッテリーを本体から外し、保管してください。
※バッテリーの長期保管方法は「リモコン作業機スマモ」の取扱説明書記載の「バッテリーを安全にお使いいただくために」(⇒P. 9)を必ず参照してください。
※コントローラのバッテリーの長期保管方法は「リモコン作業機スマモ」の取扱説明書記載の「コントローラを安全にお使いいただくために」(⇒P. 15)と「リモコン作業機スマモ」に付属している「Li-Po 電池を使用する際の注意事項」を必ず参照してください。

以上の項目を必ず参照して、3 ヶ月以内の補充電と、作業後の速やかな充電を確実に行ってください。

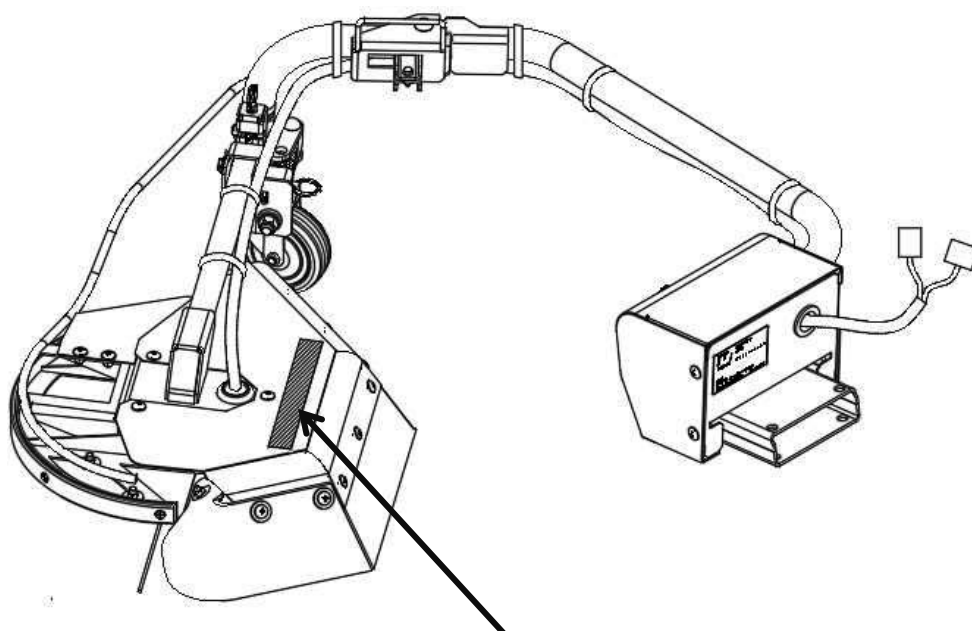
安全ラベル



機体を安全に使用するために、本機は安全ラベルを貼っています。安全ラベルをよく読んでからご使用ください。

万一、本機に貼ってあるラベルの破れ、紛失、汚れなどでラベルが読めなくなってしまった時は、新しいラベルと交換してください。

また、安全ラベルが貼り付けてある部品を交換する場合も、ラベルを新しいものに貼り換えてください。

安全ラベルはお買い上げ販売店にご注文ください。



▲ 注意	●取扱説明書を熟読し、安全に作業してください。 ●作業時は周りに人がいないことを十分に確認してください。
▲ 警告	 作業中は回転部に近づかないでください。 点検整備する際は必ず本体とコントローラーの電源を切ってください。 回転部に巻き込まれてケガをする場合があります。  作業中は機体に近づかないでください。 飛散物で、ケガをすることがあります。

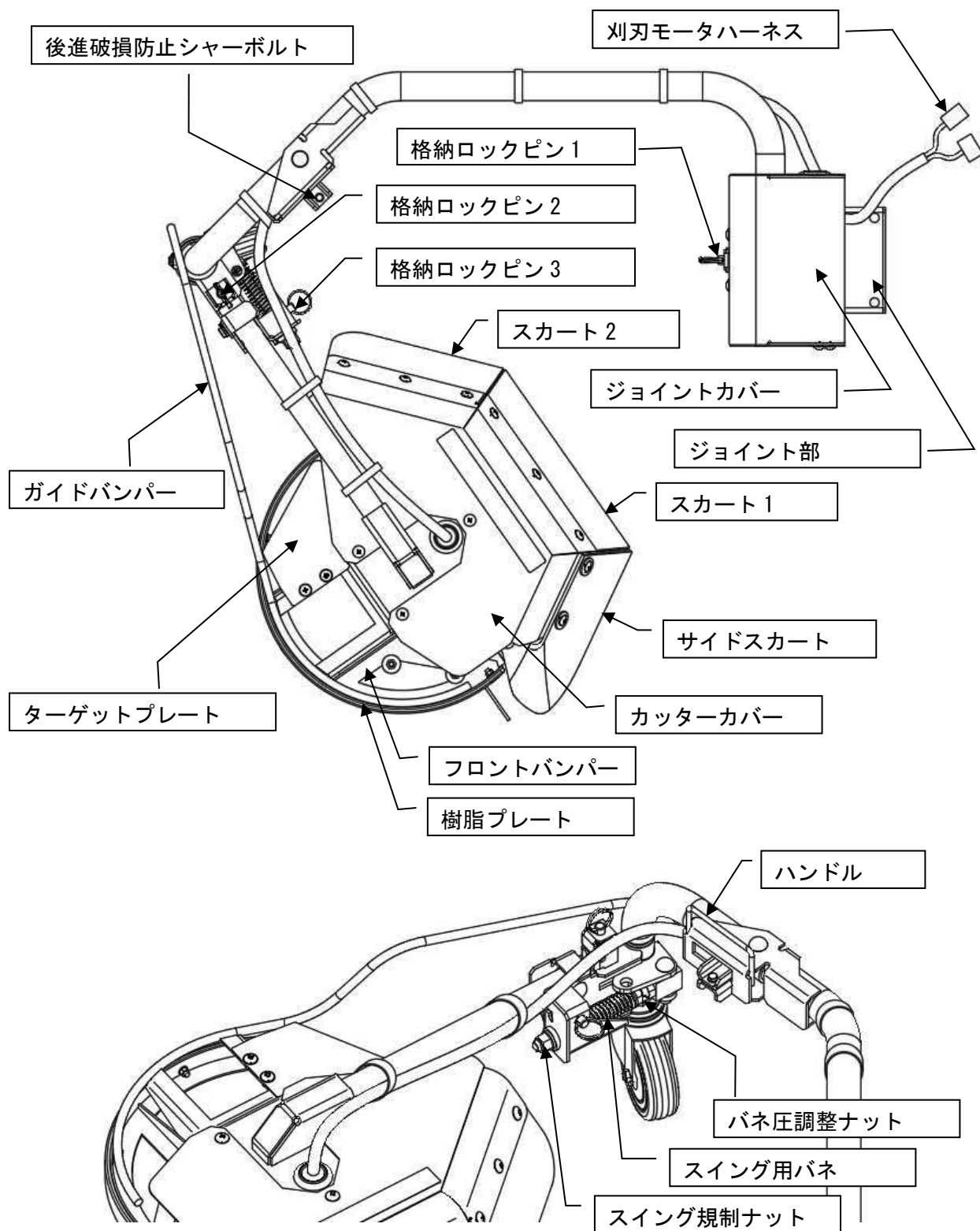
U71-814700-0

▲ 注意

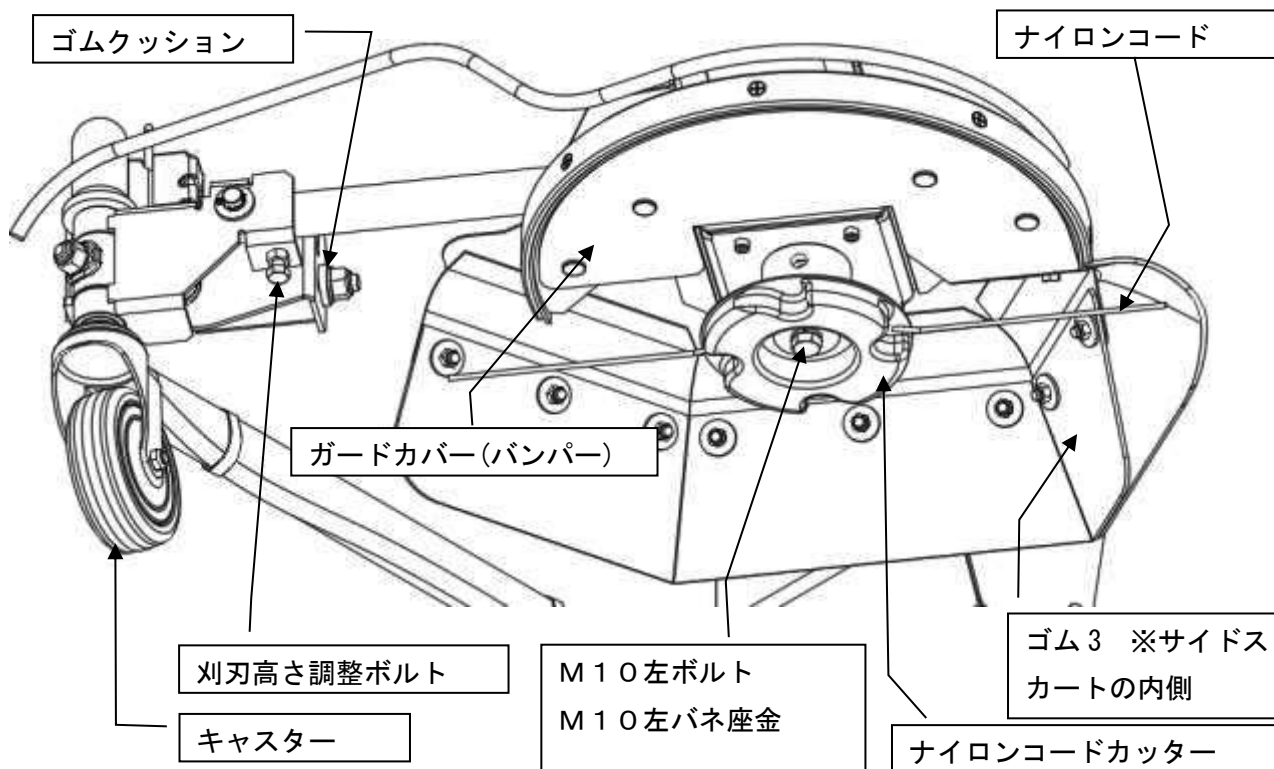
- 安全ラベルは破損したり、はがれたりした場合は、上記番号・名称にて手配のうえ、貼り直してください。
- 新しい安全ラベルを貼る場合は、汚れを完全にふき取り、乾いた面にして元の位置に貼ってください。

各部の名称

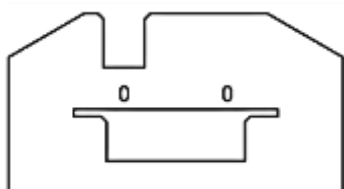
■各部名称



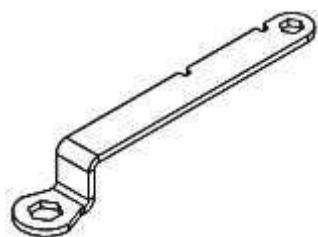
各部の名称



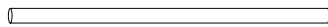
標準付属部品名



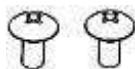
ジョイントプレート



カッター交換用スパナ



回り止めロッド 1個



M6トラス小ネジ 2個



リピータイ 1個



取扱説明書



保証書



シャーボルトセット

- ・ M5 ボルト 1個
 - ・ M5 ワッシャー 2枚
 - ・ M5 バネ座金付きナット 1個
- } 9セット

※開梱時に組立で使用する部品は開梱手順書に記載しています。(本誌では省略)

取付方法と運転準備

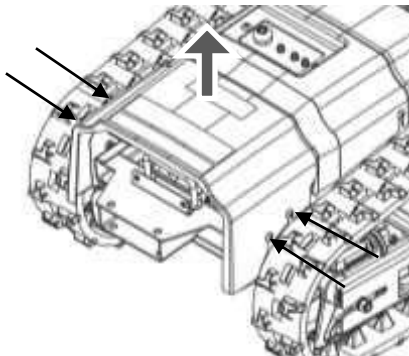
■際刈リアタッチの取り付け



警告

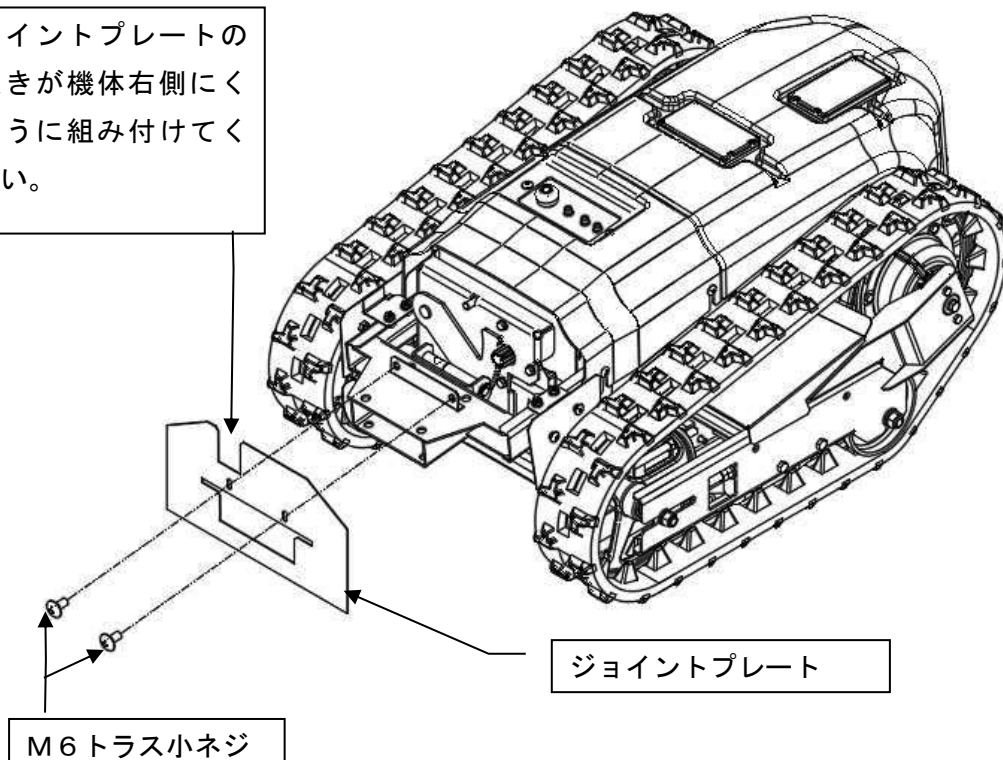
アタッチ取り付け及び整備・調整の際は必ずバッテリーとコントローラの電源を切ってください。

- (1) スマモ本体のカバージョイントを取り外し、ジョイントプレートを取り付けてください。
ジョイントプレート取り付け用のM6トラス小ネジは緩まないようしっかりと締め付けてください。



ジョイントカバーを押えているビスを4か所緩めてください。
(取外す必要はありません)
緩めたらジョイントカバーを上方向に引き抜いてください。

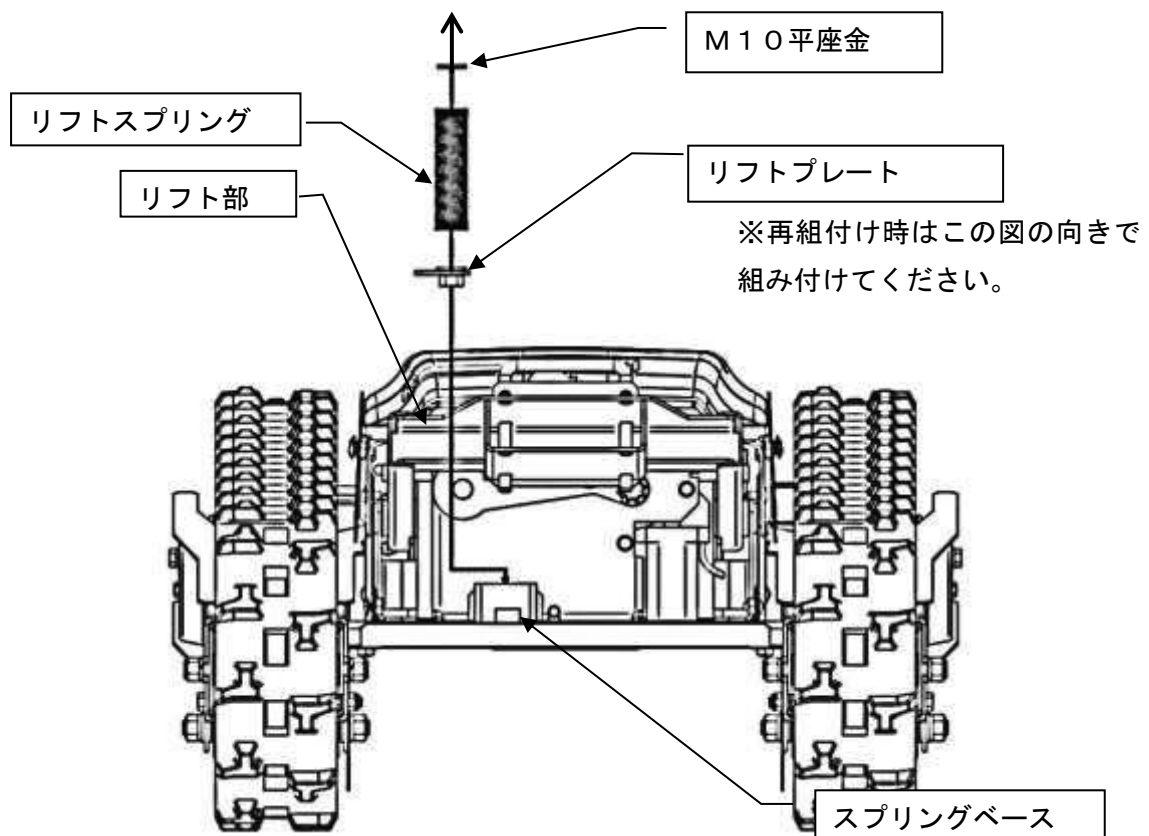
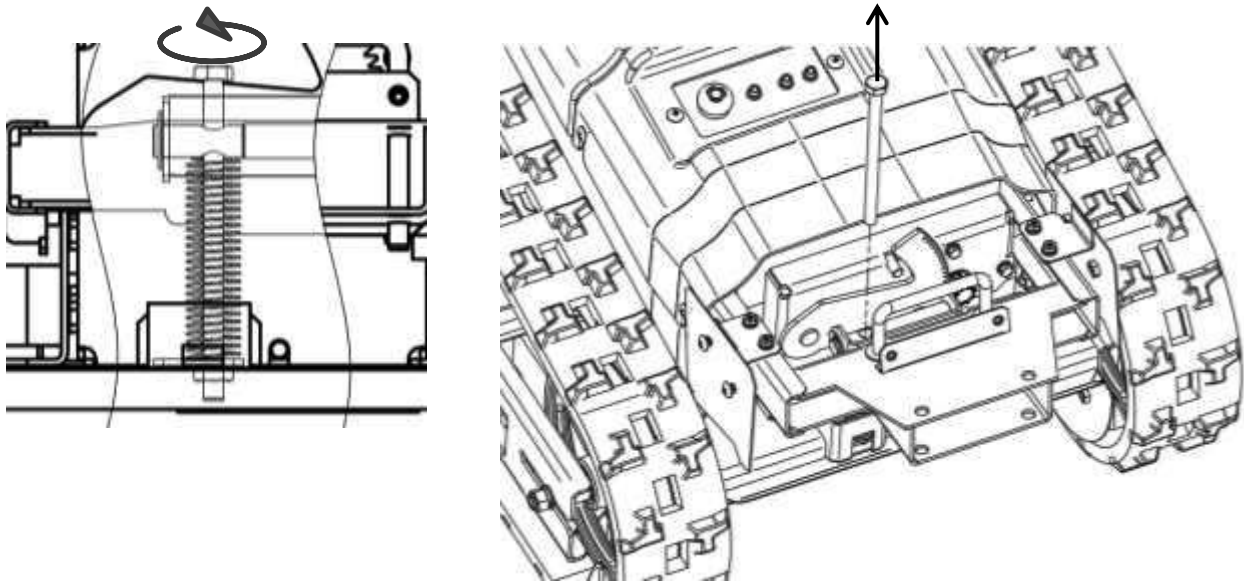
ジョイントプレートの切欠きが機体右側にくるように組み付けてください。



(2) M700をご購入されている場合、フローティング調整ボルトを反時計回しに回して取り外し、リフトプレート・リフトスプリング・M10平座金を取り外してください。

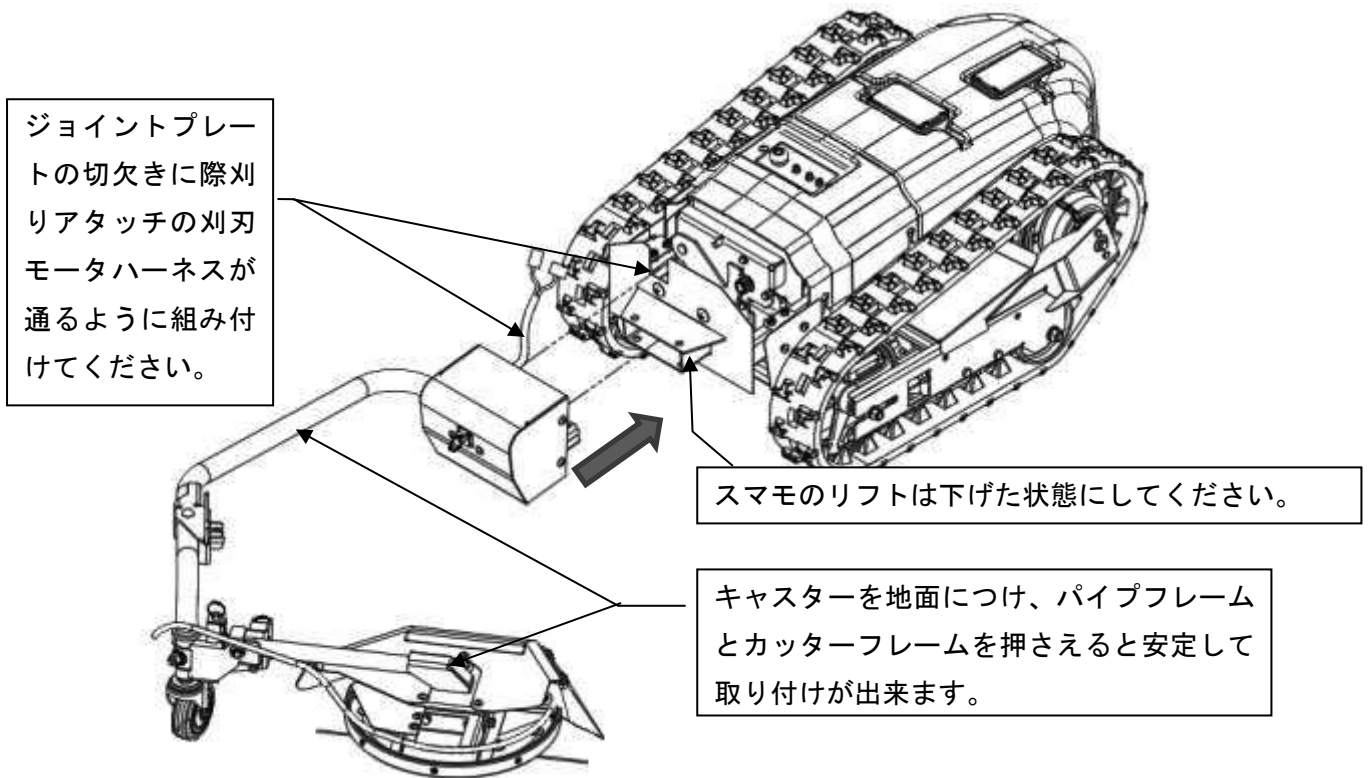
※取り外した部品は仮組みして無くさないよう保管してください。

※再度M700を組み付ける際は逆の手順で、リフトプレートをスプリングベースに入れ、リフトスプリング、平座金の順に入れ、最後にフローティング調整ボルトを時計回しに回して組み付けてください。組付けの詳細及びバネ圧の調整方法はM700取扱説明書の⇒P. 13 **取り付け方法と運転準備**の項目をご確認ください。

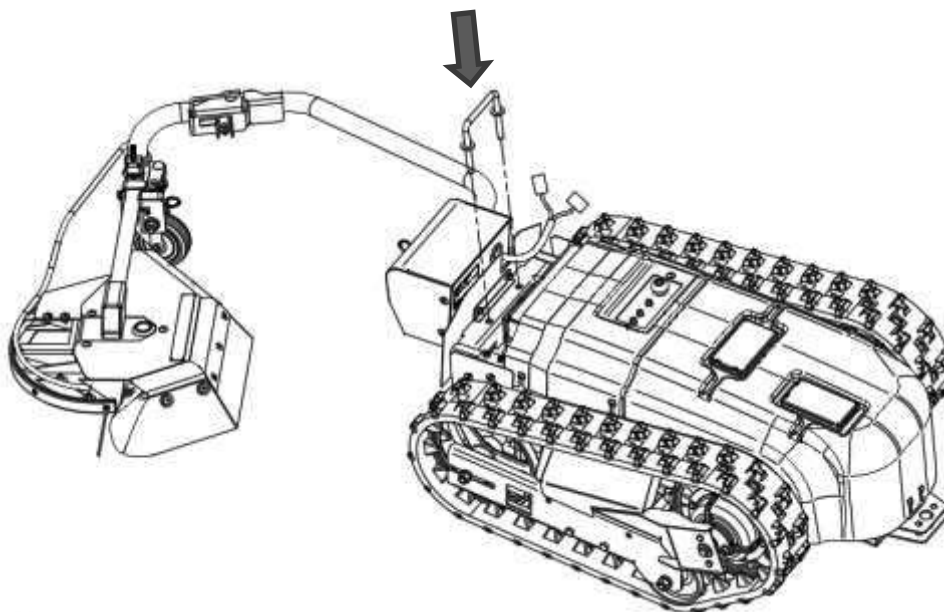


(3) 際刈リアタッチを取り付けていきます。

際刈リアタッチのジョイント部をスマモ本体のユニット取り付け口に差し込んでください。この時、ジョイントプレートの切欠きに際刈リアタッチの刈刃モータハーネスが通るように調整しながら配線を挟み込まないように十分に注意して組み付けてください。際刈リアタッチを水平にするように差し込むとスムーズに取り付けが出来ます。作業時は手を挟まないように十分に注意してください。
※取り付けの際はスマモのリフトを下げて行ってください。

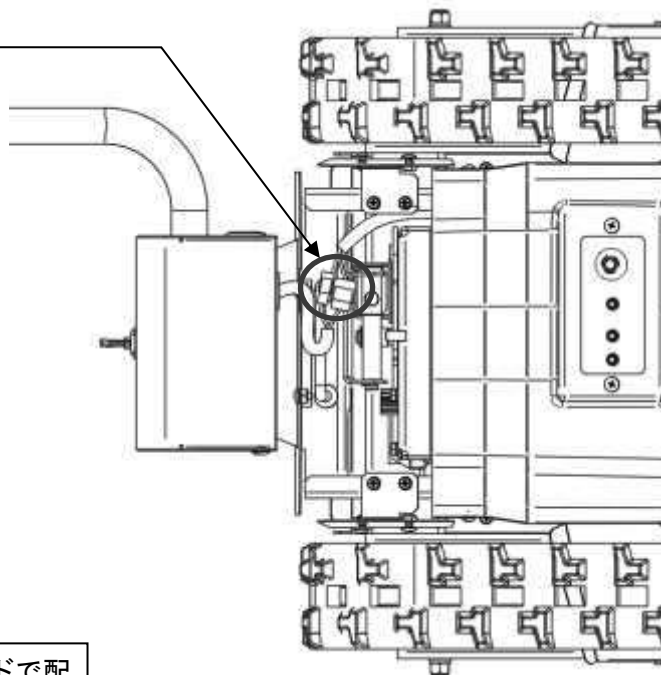


(4) ジョイントハンドルを取付けてください。

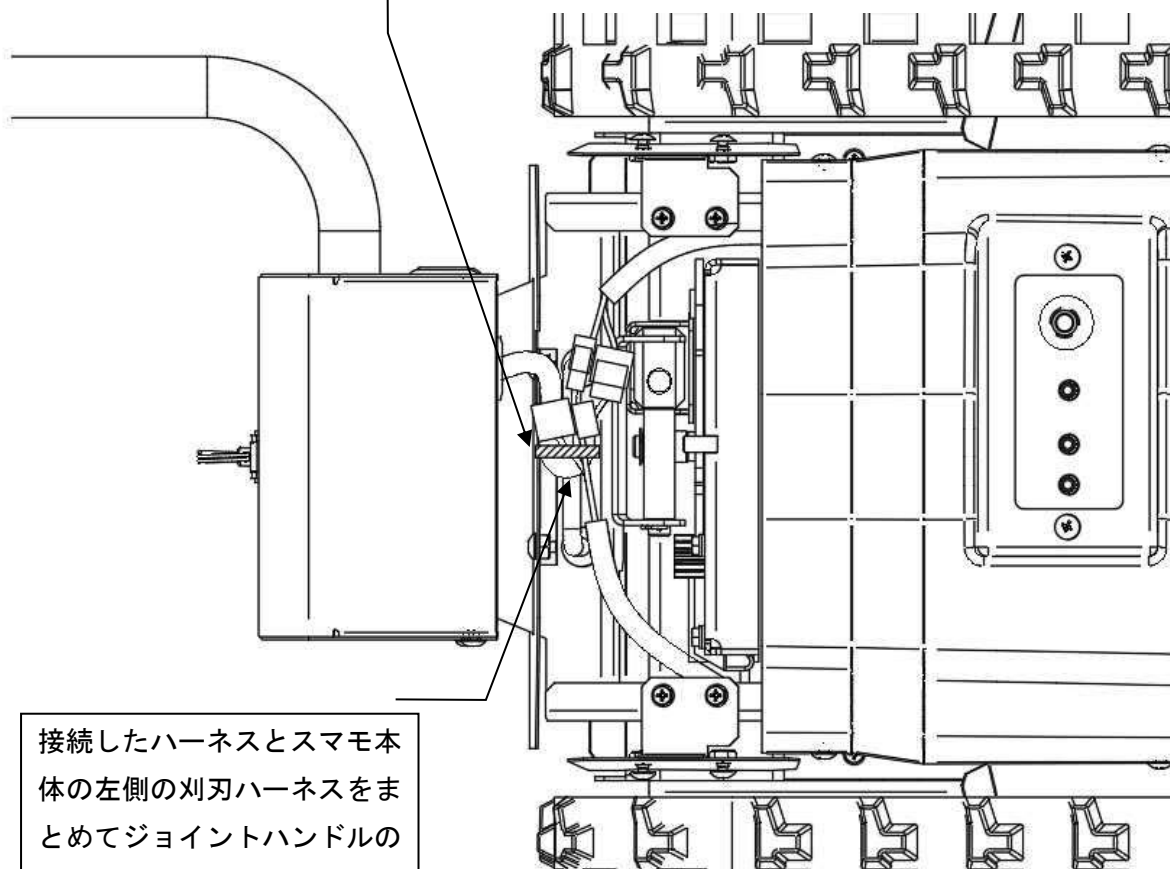


(5) 刈刃モータハーネスのコネクタと本体右側の刈刃ハーネスを接続してください。接続後は図示の様にバンドで配線を固定してください。

スマモ本体の右側の刈刃ハーネスのコネクタへ接続してください。

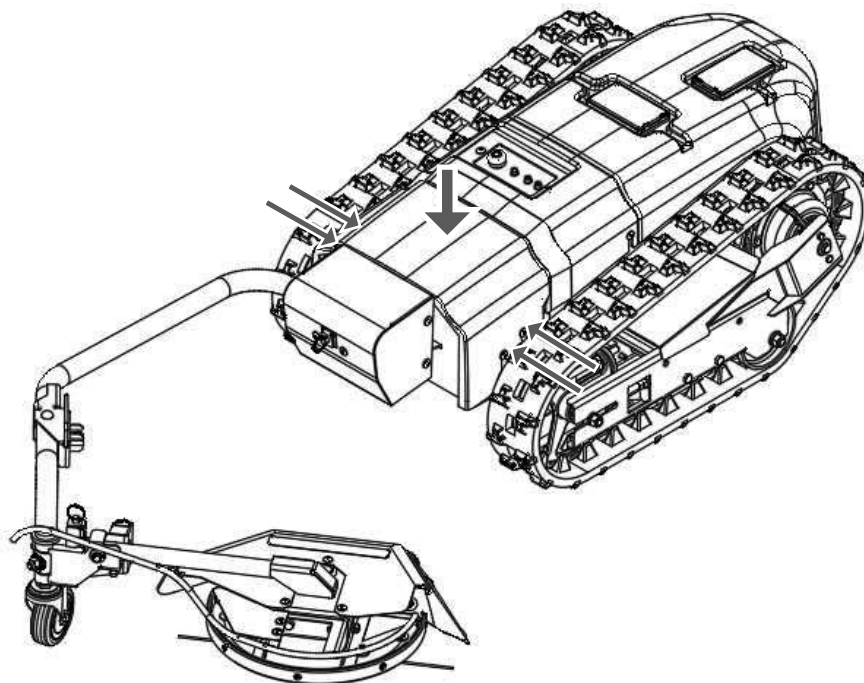


コネクタ接続後はバンドで配線を固定してください。



接続したハーネスとスマモ本体の左側の刈刃ハーネスをまとめてジョイントハンドルのつかむ部分でバンド固定してください。

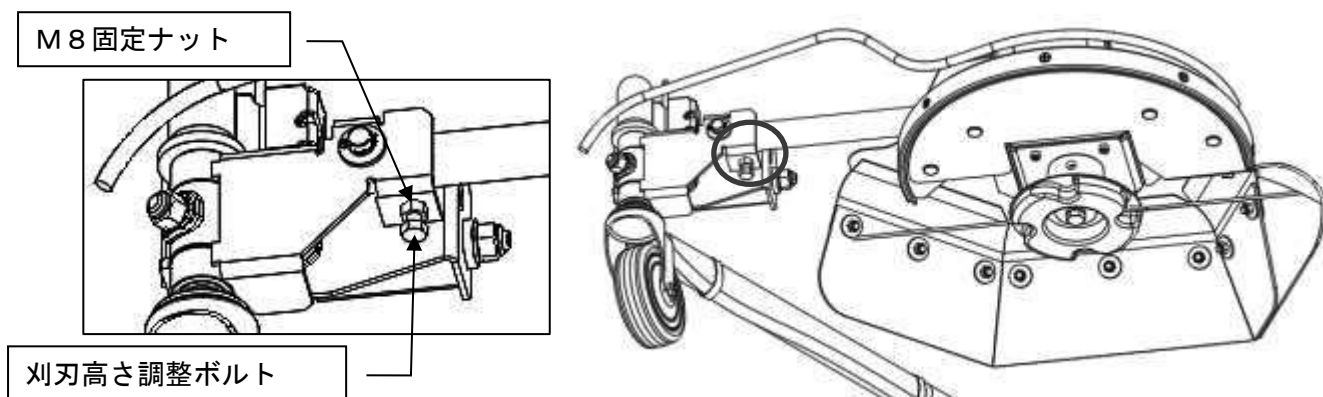
- (6) ジョイントカバーを取り付け、4か所のM6トラス小ネジを緩まないようしっかりと締め付けてください。



■際刈リアタッチの刈部高さ調整

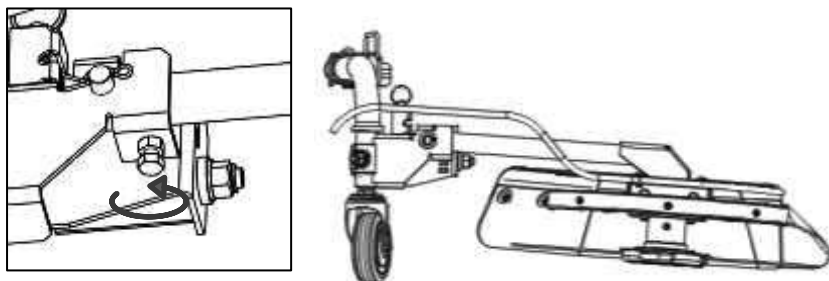
刈部高さ調整は出荷状態で水平になるよう調整しておりますが、作業環境に合わせ高さを微調整することができます。地面からナイロンコードカッターの底面までの高さは 40mm の位置が推奨の高さです。

①下図位置にある刈刃高さ調整ボルト(M8)を固定しているナットを緩めます。

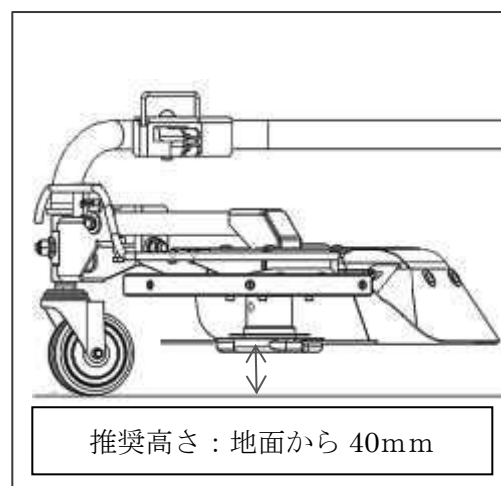
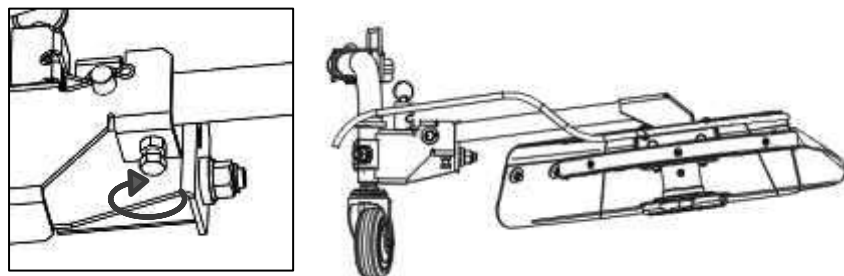


②高さ調整ボルトを回し、高さを調整してください。ボルトを回す際は刈部を手で持ち上げながら回すと軽い力で回すことができます。

高さ調整ボルトを緩めると刈部が下がります。



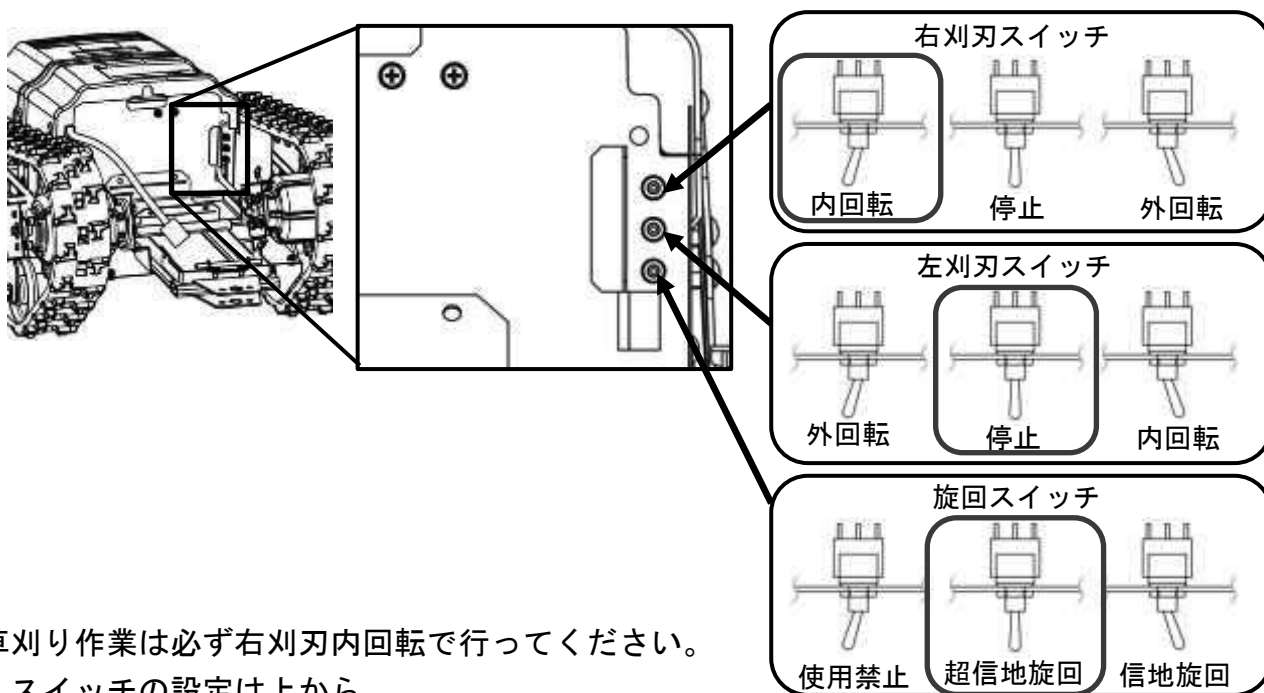
高さ調整ボルトを締めると刈部が上がります。



③高さ調整が終わったら①で緩めた固定ナットをしっかりと締めてください。

■ 刈刃回転方向の設定

- ・ 刈刃回転方向設定スイッチはスマモ本体側のドライバース側面にあります。



- ・ 草刈り作業は必ず右刈刃内回転で行ってください。

スイッチの設定は上から

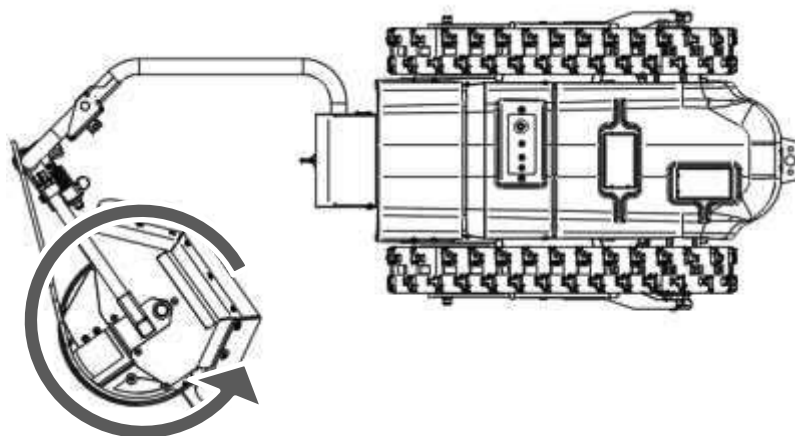
- ・ 右刈刃スイッチ：内回転(スイッチが左側に倒れている状態)
- ・ 左刈刃スイッチ：停止(スイッチが中間位置の状態)
- ・ 旋回スイッチ：超信地旋回(スイッチが中間位置の状態)

※左刈刃スイッチを停止以外に設定した場合、刈刃回転時にエラーが発生します。

エラーが発生した場合は再度スイッチの設定を正しい状態に設定し、本体とコントローラーの電源を入れなおしてください。



草刈作業前に必ず回転方向を確認してください。下図と反対の方向に回転させると、回転軸端ボルトの緩みにつながり、カッターが脱落する恐れがあります。



運転方法

■刈刃を回転させる

⚠ 警告

刈刃回転中は絶対に刈刃回りに近づかないでください。回転体に巻き込まれ重傷を負う恐れがあります。また、作業を行う範囲内に作業員以外の人がないことを十分に確認してください。

旋回を行う際は必ず機体の周りから離れてください。

⚠ 注意

走行時・作業時は人が周りにいないことを十分に確認してから移動してください。後進時は後ろに壁、物がないことを確認してから移動してください。

旋回の際は旋回範囲内に立たないでください。

刈刃回転中は石などが飛んでくる恐れがあります。決して際刈リアタッチ周りに近づかないでください。

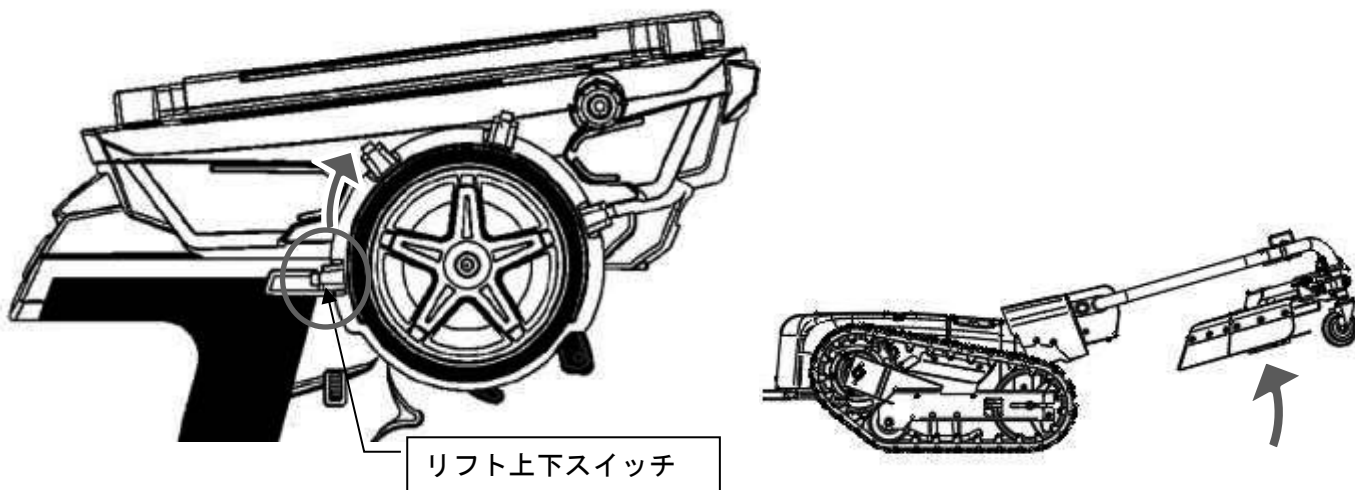
作業時は安全靴や保護メガネなどの安全具を必ず身に付けてください。

各操作スイッチをテープやひも等で固定しないでください。

★機体電源の入／切、及び基本的操作方法はスマモ付属の取扱説明書をご確認ください。

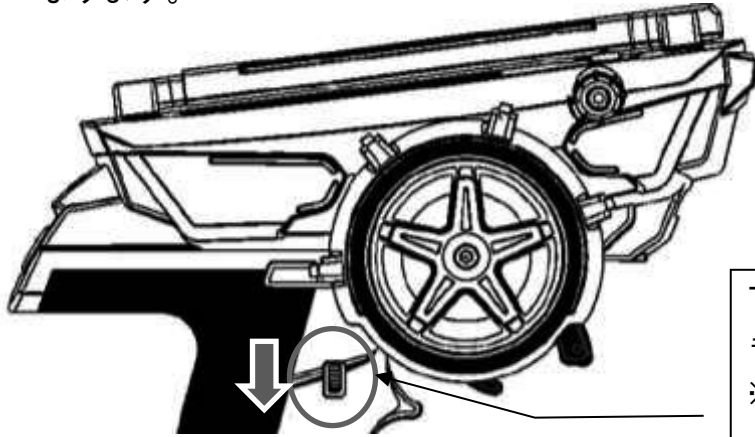
(1) リフト上下スイッチを上側に押し際刈リアタッチを上げてください。

刈刃ユニットを下げたまま回転させると草などが絡まり回転が正常に行われずエラーとなる恐れがあります。また、この際にナイロンコードカッターに草が絡んでいないか、刈刃回りに石や角材などが落ちていないか十分に確認してください。



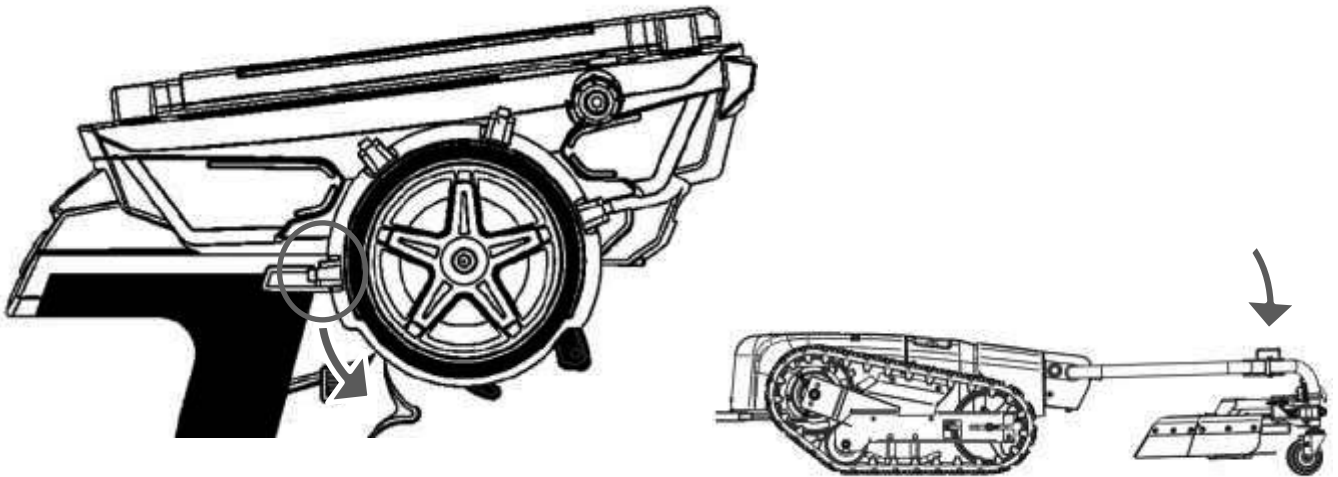
- (2) 刈刃回転スイッチを下方方向に押ししてください。1度押すとカッターが回転を始めます。もう一度押すとカッターは停止します。

※連続でスイッチを押さないでください。モータに熱が溜まりエラーの原因になります。



下に押す：回転
もう一度押す：停止
※際刈リアタッチの配線と本体の配線が付いていない場合や配線が断線している場合エラーになります。

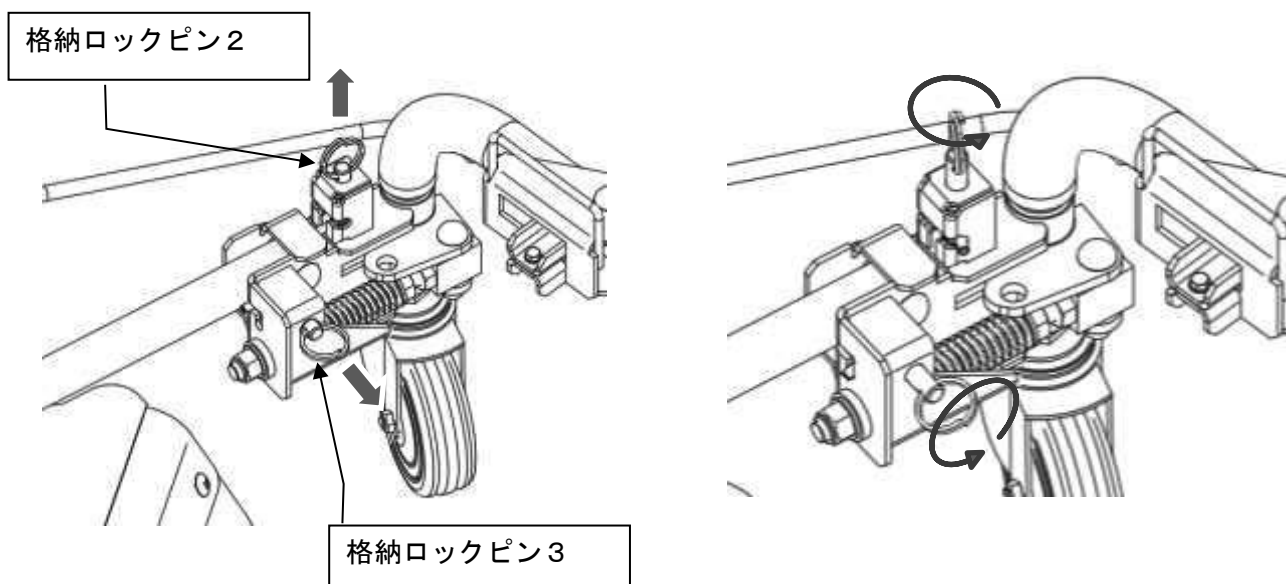
- (3) 刈刃回転スイッチを押した後、約 10 秒程度で刈刃の回転が安定します。回転が安定したらリフト上下スイッチを下方方向に押し際刈リアタッチを下げてください。



■草刈作業を行う

●初めに

格納ロックピン2、3を確実に解除してください。解除方法は下図のようにアーム固定ピンを引っ張りながらひねり、スプリングピンが切欠きにしっかりとハマるようにしてください。



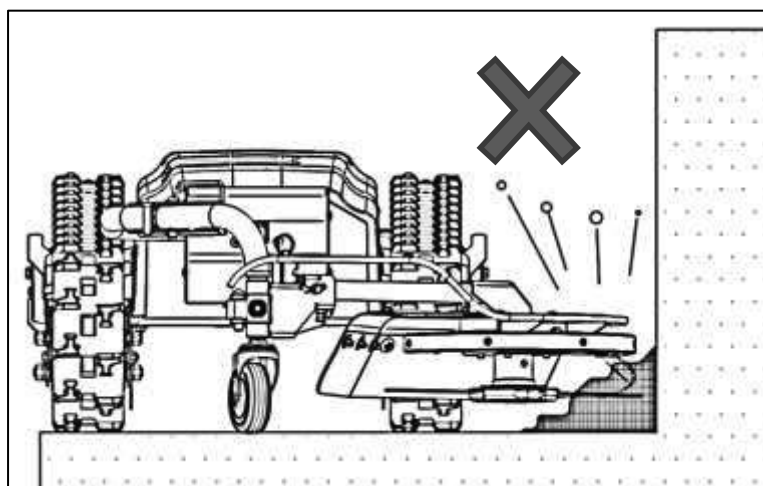
●作業環境の確認

⚠ 注意

作業場所に異物・ゴミが落ちていないか確認ください。

砂利や土が盛り上がっている部分は飛散防止の為、均すか、刈刃を上げてナイロンコードカッターに土や砂利が当たらないようにしてください。除去・回避できない場合は避けて作業をしてください。

配線・配管部分は避け、ナイロンコードが当たらないようにしてください。



●ナイロンコードの長さ

ナイロンコードの長さは状況に合わせて切りそろえてご使用ください。

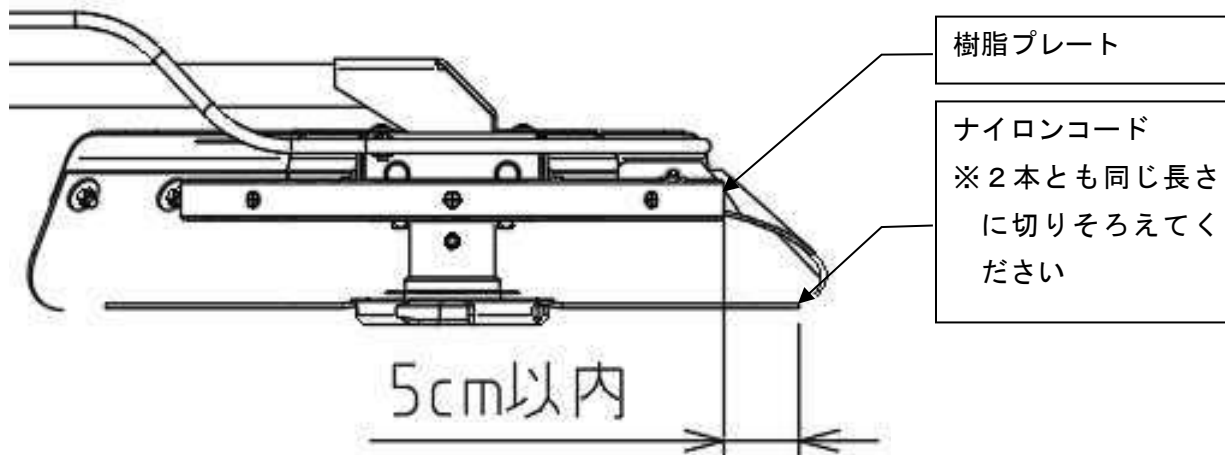
以下に想定される2パターンの長さの設定を記載しています。

※ナイロンコードをカットする際はしっかりとナイロンコードを引っ張り、たるみがないようにしてください。たるんだ状態でナイロンコードカッターを回転させると、たるみ分のコードが伸び、スカート等への接触・損耗の原因となります。

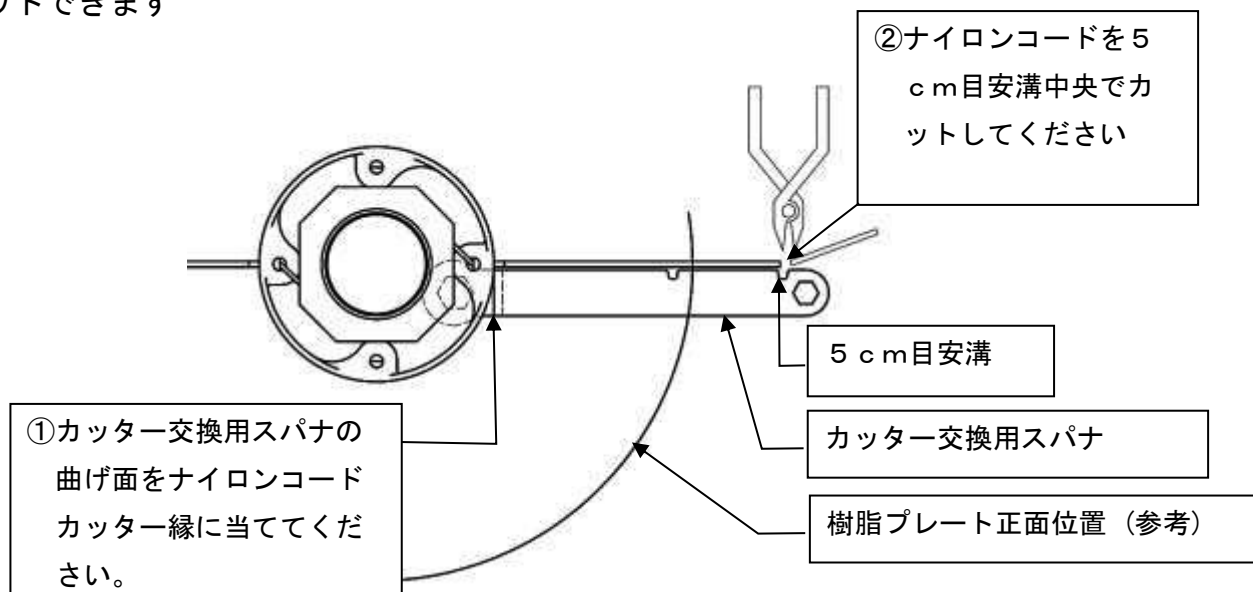
①対象物の際までナイロンコードを当てる場合(金属製のポール・コンクリート壁際等)

★対象物に傷が付いても問題が無い場合のみこのナイロンコード長さを設定してください。

バンパーの樹脂プレートよりコードを出します。ナイロンコードは最大で樹脂プレートより5cmまで出すことが可能です。5cm以上で作業を行うとスカートにナイロンコードが当たり損耗の原因となる為、必ず長さを確認してください。



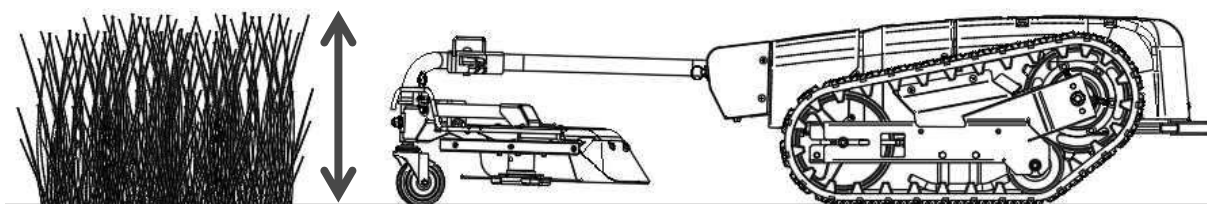
付属のスパナに長さの目安になる溝が付いています。下図のようにナイロンカッターヘスパナを押し当て外側の溝の中央部でカットするとバンパーより約5cm程度出ている部分でカットできます



●草丈について

草刈り作業は草丈が**最大 50cm 以下**の場所で行ってください。

50cm 以下



●草の密度について

草の生えている密度によって速度を調整してください。密集している場合は速度を落とし、逆に密集していない場合は速度を上げると効率よく草刈り作業を行えます。

- ・高密度の場合：25～35%
- ・中密度の場合：30～40%
- ・まばらに生えている場合：40～50%

●草刈り作業時の作業速度について

刈刃を回転させると安全のため自動で速度上限が 50%に落ちます。速度表示が 50～100%の場合、強制的に 50%の速度になります。50%以下の速度は表示している速度となります。速度を 50～100%の範囲に設定している場合は刈刃回転を止めた際に元の速度に戻るため、注意してください。

●草刈り作業時の負荷保護について

負荷により刈刃の回転数が落ちた場合は自動で停止して回転数が安定すると再度走り始めます。動作異常ではなくモータの負荷を軽減させる制御です。負荷で止まった場合は際刈リアタッチを上げると回転数の復帰が早くなります。

●バンパーに当たらない位置の異物・障害物に当たった場合

進行方向に切株や地面に埋まっている石等があると刈刃がぶつかり草を刈っている時よりも大きい音が発生します。負荷が大きい場合は安全装置が働き、停止しますが、負荷が少ない場合は回り続けます。その際はあわてずに一度刈刃の回転を停止し、異物を取り除くか、切り株などのような除去できないものは避けて作業を行ってください。異物を取り除く際は刈刃が回らないよう機体の電源を切るか、機体を十分に異物から離して刈刃回りに近づかない様に異物を除去してください。

●水たまりや水路付近での作業について

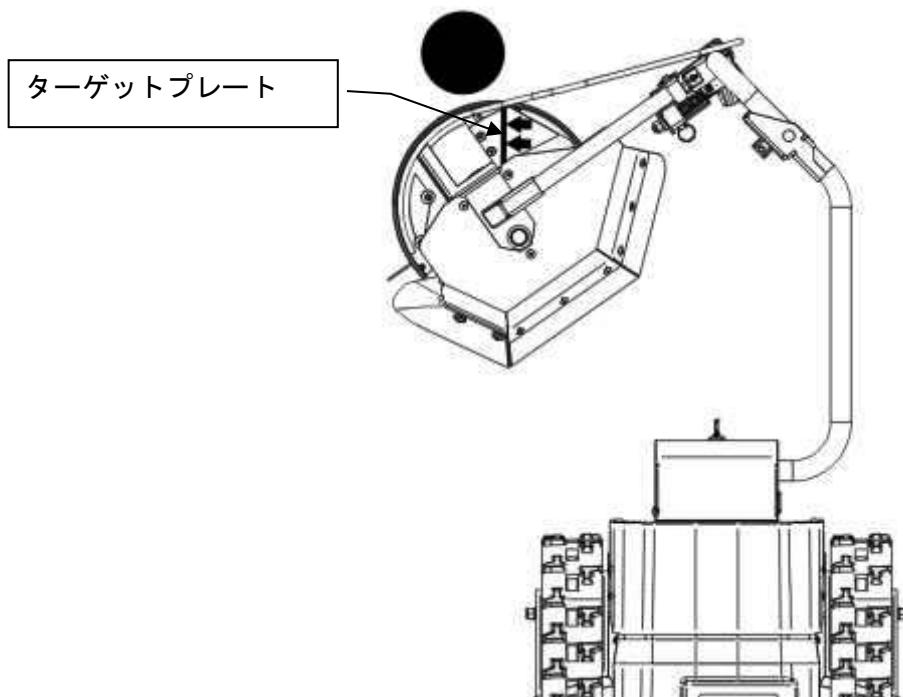
本機体は完全防水ではありません。機体の破損や感電の恐れがあるため、水が溜まっている場所は走行しないでください。特に雨天後の水たまり走行は行わないようにしてください。

●ナイロンコードカッターに適さない草

茎の固い植物や小さい木などはナイロンコードで切断できません。また、ナイロンコードが著しく消耗します。

●ポール際の草刈り作業

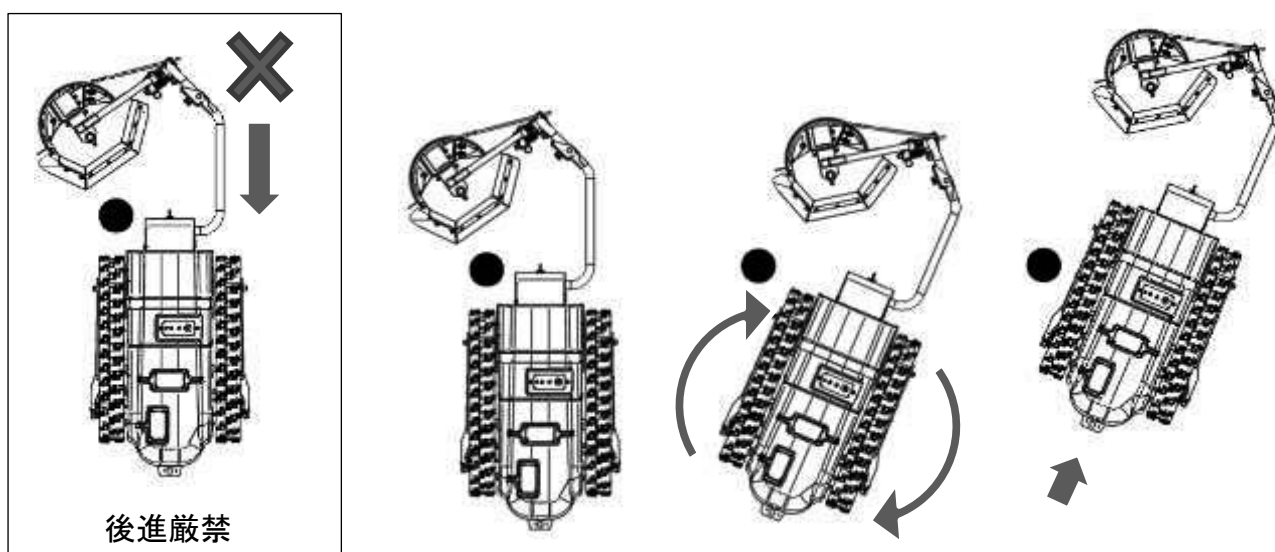
バンパー上面に付いているターゲットプレートのラベルに示されているライン外にポールを当てるようにして作業してください。ラインより内側にくる状態で直進するとポールが本体に当たる恐れがあります。



●本体と刈刃の間にポールが来てしまった場合

一度右方向に超新地旋回をしてポールを回避してから直進してください。

※本体と刈刃の間にポールが来てしまった時に、後進は絶対に行わないでください。

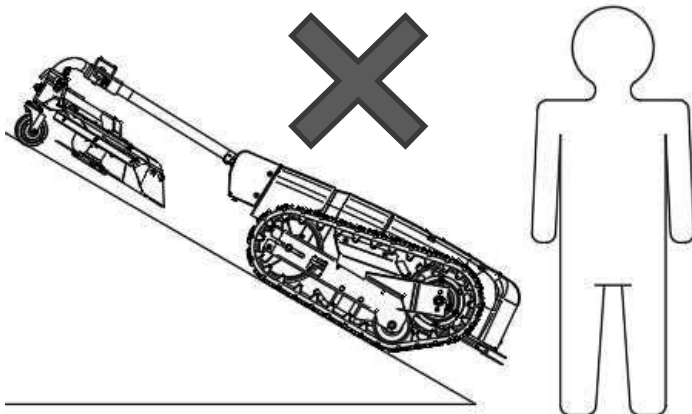
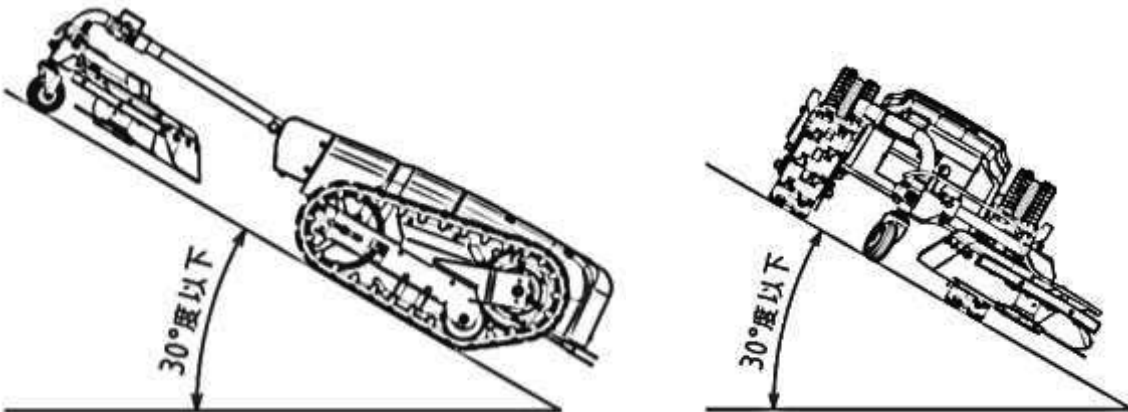


●傾斜地での草刈り作業

警告

傾斜地で作業をする際は機体の下側に立たず離れた位置で操作してください。また、本機の電源を切る場合は機体を横向きにして、安定した場所で行ってください。斜面上下方向で電源を切ると、下傾斜方向に動く場合があります。必ず横向きにして電源を切ってください。

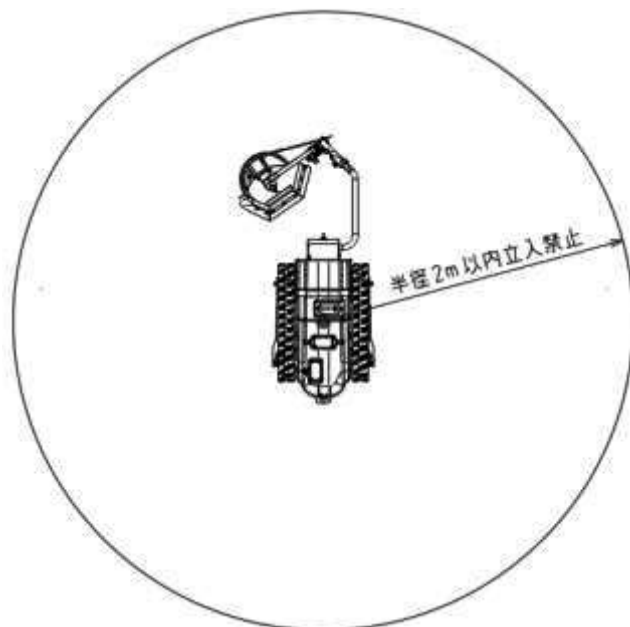
傾斜地での作業は際刈りアタッチを開いた草刈作業姿勢で 30° 以下であることを確認してください。指示外の角度の傾斜地で作業を行うと機体の姿勢が不安定になり転倒する恐れがあります。また、 30° 以下であったとしても部分的に凹みがあり 30° 以上になるような場合や、地面が緩い状態、ぬかるんでいる場合は転倒の危険があります。作業姿勢を見ながら危険と判断した場合は機体から離れて一度作業を停止し 30° 以下の場所へ低速で移動してください。緊急の場合はコントローラと本体の電源を切り、手で引っ張って移動してください。電源を切る場合は斜面に対し機体を横向きにして安定した位置にしてください。また、傾斜地での作業は低速で行い急発進や急停止を行わないでください。



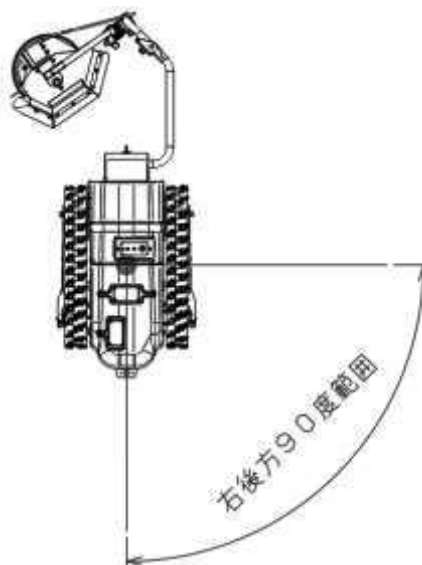
傾斜走行時は機体の下側に立たないでください。

●作業時の立ち位置

- ① 刈刃を回転させ作業を行う場合は安全靴や保護メガネなどの安全具を必ず身に着け、機体から 5m程度離れて操作をしてください。また草刈作業時は以下の立入禁止範囲内に入らないように作業を行ってください。
止むを得ず立入禁止範囲に入らなくてはならない状況の場合、刈刃の回転を停止させるなど安全を十分に確保してください。
- ② 刈刃が回転していない場合でも非常時以外は機体の中心(ドライバカバーとリアカバーの繋ぎ目付近)から 2m以内に入らないでください。



- ③ 機体について歩く場合は本体右後方の約 90° の範囲内に立ち作業を行ってください。この範囲内にいる場合でも壁やポールにあたった飛散物が飛んでくる恐れもある為、必ず保護具を身に付けてください。緊急時、非常停止スイッチを押す際はこの範囲内から機体に近づき機体右側面へ回り込み押ししてください。



■バッテリーの運用方法

本項目では走行ユニットに際刈リアタッチを装着し草刈り作業を行った際のバッテリーのローテーションを記載しております。

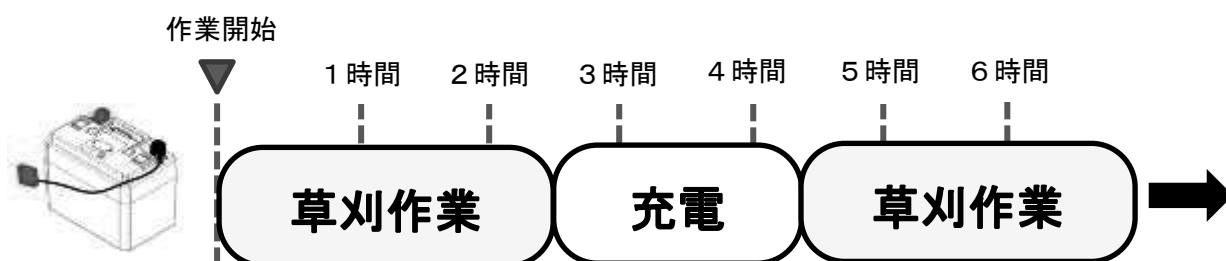
※追加のバッテリーが必要な方は 「別売バッテリーオプション RS-B1」 をご購入ください。ご購入の際は本機お買い上げの販売店へご連絡ください。

●バッテリー1個使用時

本体のみで使用する際はバッテリーを機体前側に搭載してご利用ください。

※バッテリー搭載位置は各作業ユニットの取扱説明書を確認し、適切な位置に配置してください。

バッテリー1個使用時の運用スタイル

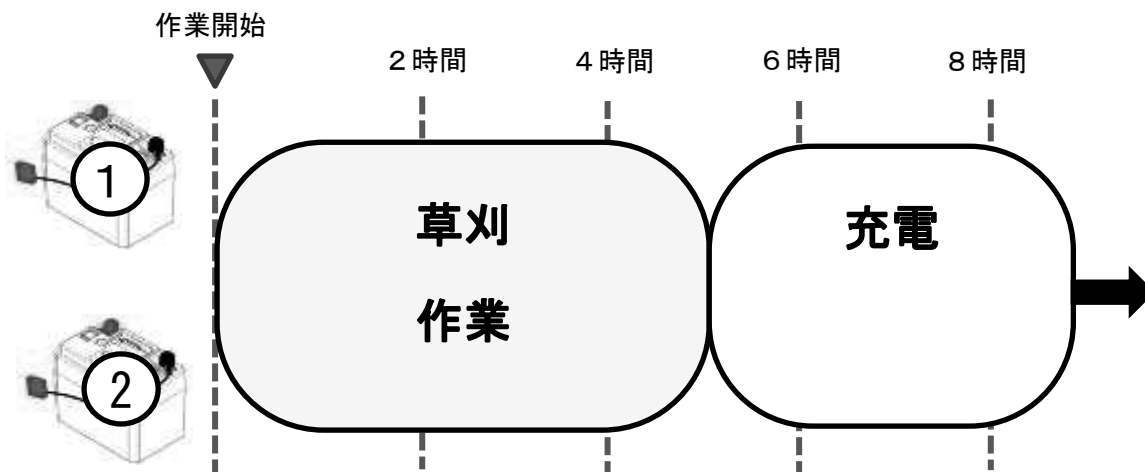


●バッテリー2個使用時

バッテリー2個使用時の運用スタイルは2パターンあります。

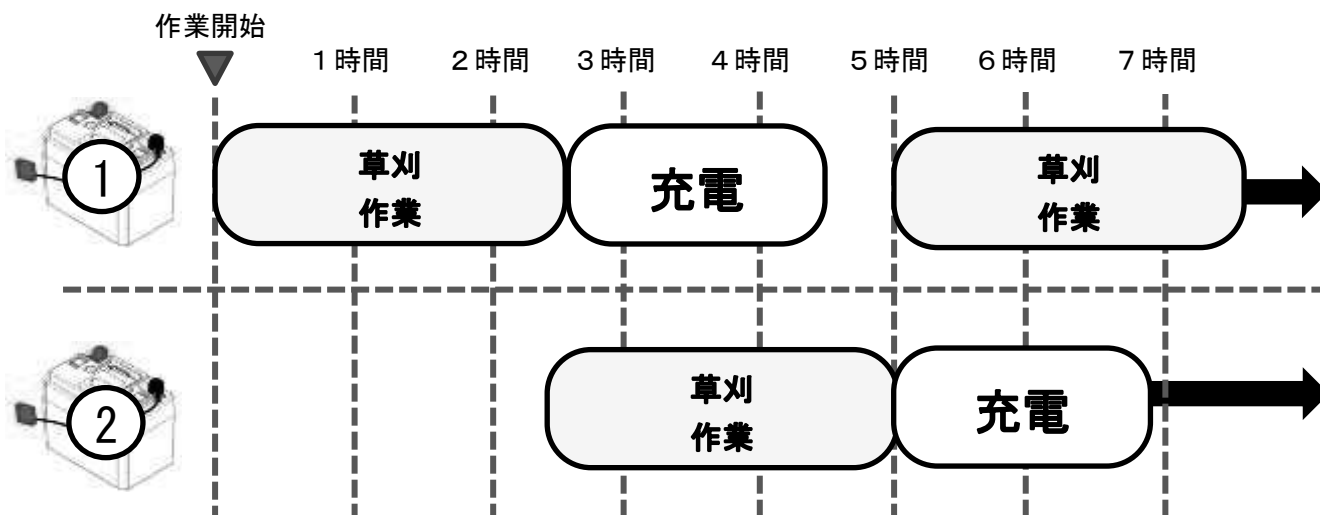
・パターン1：並列ハーネスを使い2個同時に使用・充電する。

作業場所の近くに充電可能な施設が無い場合は並列ハーネスを使用することでバッテリー2個分の作業をコネクタの繋ぎ変えをせずに行うことができます。



・パターン2：バッテリー2個を1個ずつ使用する。

作業場所の近くに充電可能な施設がある場合はこちらの方法で連続作業することができます。



点検・整備

●定期点検を行うようにしましょう



使用前点検、定期点検を必ず行ってください。

点検・整備は必ず電源を OFF にし、電源コネクタを抜いてから行ってください。

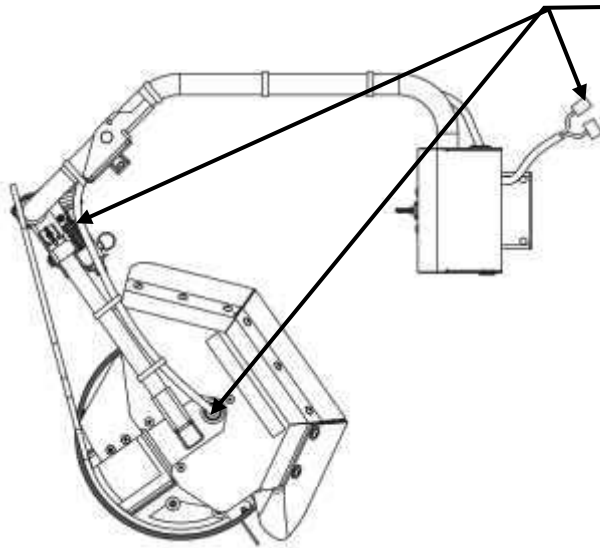
定期点検表

点検項目	作業前点検	作業後点検	シーズンごと	
			作業シーズン 初め	作業シーズン 終わり
配線等の破損・断線	○			
バッテリーの充電状態	○	○	○	○
刈刃回りの異物(土・草)挟まり	○			
各種スイッチの作動	○			
消耗部品の状態確認	○			○
各部締め付け	○	○	○	○
ピン・シャフト類へのグリス塗布	(○)	(○)	○	○

点検・整備方法と確認箇所

■配線等の外れ・破損・断線の確認

下図に示す箇所の配線を点検してください。



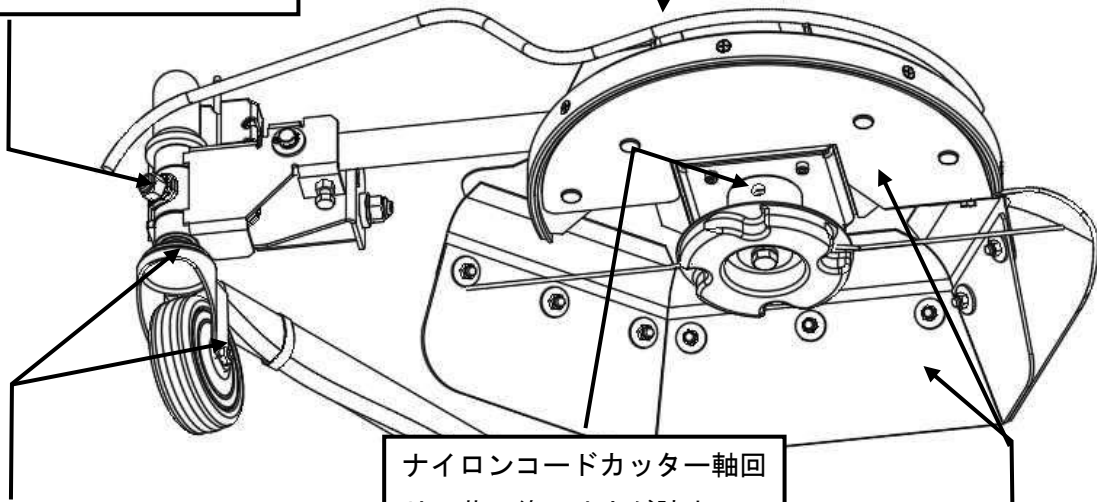
刈刃モーターハーネス部

- コネクタ内部の端子は外れていませんか？
- コネクタの爪が折れていたり、コネクタが割れていたりしていませんか？
- 配線にキズや断線している箇所はありませんか？

■異物(土・草など)の確認と清掃方法

スイング支点の間に挟まっている草や土を取り除き、スムーズにスイングするようにしてください。

カバー上面やバンパー回りの土・汚れを落としてください。



キャスター回転部に草の絡みや石や土の挟まりがある場合、除去してスムーズに回るか確認してください。

ナイロンコードカッター軸回りに草の絡みや土が詰まっている場合、除去し、スムーズにカッターが回るようにしてください。

カバー内部やバンパー、モーターケース、各種スカートに付着している草や土を除去してください。

★機体の水洗いについて

本体の清掃は基本的に水拭きで行ってください。

ただし、汚れがひどい場合は以下の方法で水洗い可能です。

バッテリーを外し、際刈リアタッチをスマモ本体に取り付け、全てのカバーを付けた状態でホースによる放水にてカバーの表面やフレームの汚れ、刈刃内部の土・草を落としてください。水洗後は十分に水滴を取り除いてください。また、高圧洗浄機での水洗いは行わないでください。

◎コントローラは防水仕様ではありません。濡らさない様にご注意ください。

ただし、以下の点に気を付けてください。

- ・水洗前は本機からバッテリーを取り外してください。
- ・水洗後にバッテリーを接続する際はコネクタ内部の水分を十分に除去してから接続してください。
- ・本機は完全防水ではなく機体表面側からの水の侵入を防ぐ仕様となっております。そのため高圧洗浄機等で清掃すると電装部に水が浸入し故障する恐れがあります。高圧の水流を発生させるものでの洗浄は行わないでください。
- ・カバーはすべて取り付けられた状態で水をかけてください。
- ・水洗後に刈刃を回転させる際は一度刈刃ユニットと本体をつなぐコネクタ内部に水が付着していないか十分に確認してください。付着していた場合は確実に取り除いてください。ショートがあります。
- ・水洗後は機体の水分を乾いた布で拭き取り、指定箇所へのグリスアップを行ってください。水分を付着させたまま保管すると錆の発生の元となり、機体の寿命を短くしてしまう恐れがあります。

■各種スイッチの確認

作業前はスマモ本体付属の取扱説明書に記載している各種スイッチの確認に加え、以下の各スイッチが正常に作動するか確認してください。走行や刈刃を回転させるときは回りに物や人がいないことを確認し、安全が確保された状態でスイッチの確認を行ってください。

正常に作動しない場合は作業をやめ、販売店へご相談ください。

① リフト上下スイッチ

刈刃ユニットを搭載した状態でリフト上下スイッチを押し、しっかりとリフト部が上下するか確認してください。

② 刈刃回転スイッチ

開けた場所でスマモのリフト上下スイッチを操作し、際刈リアタッチが上がった状態で刈刃回転スイッチを一度押し、回転することを確認してください。また、回転が安定したらもう一度刈刃回転スイッチを押し、刈刃の回転が停止することを確認してください。

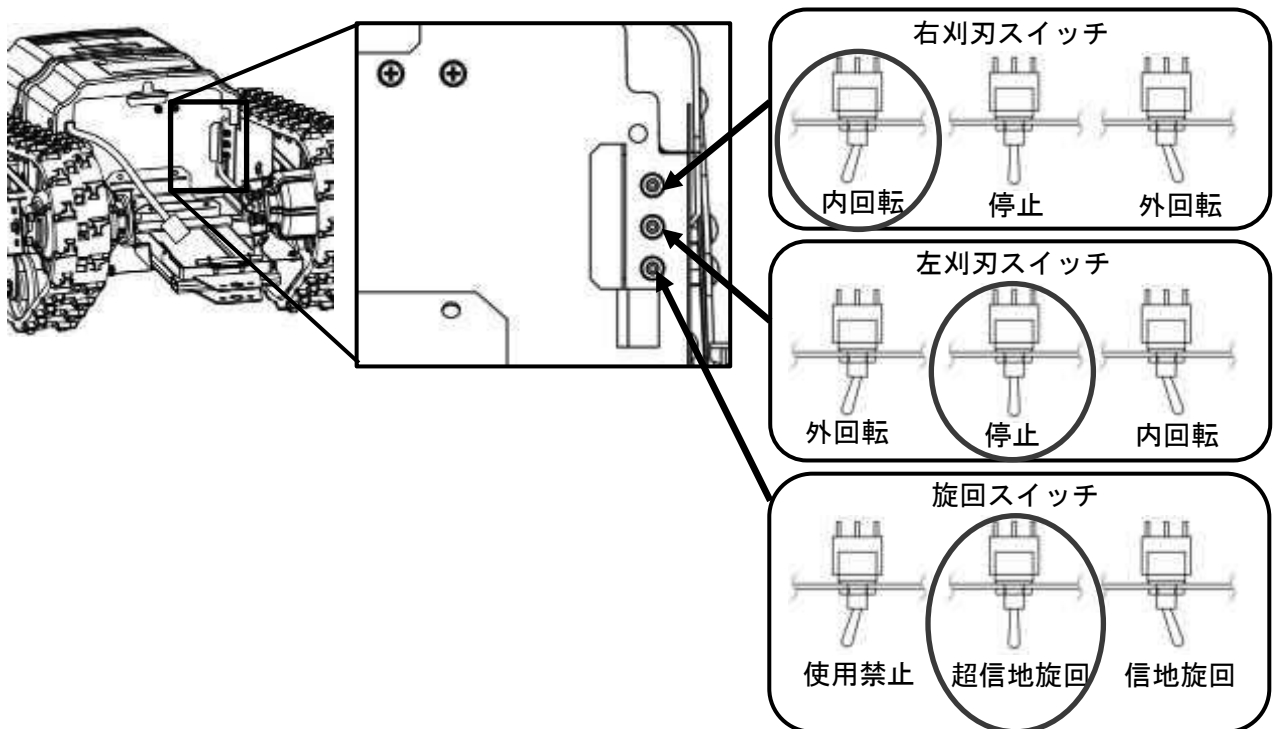
③ 非常停止スイッチ(本体側)

開けた場所で速度 30%にて走行し、刈刃を回転させた状態で非常停止スイッチを押し、機体の動作が全て停止し、コントローラによる操作を受け付けないことを確認してください。

確認後は一度機体の電源を切り、非常停止スイッチを時計回りにひねり、非常停止状態を解除してから再度電源を ON にしてください。

④ 設定スイッチ(本体側)

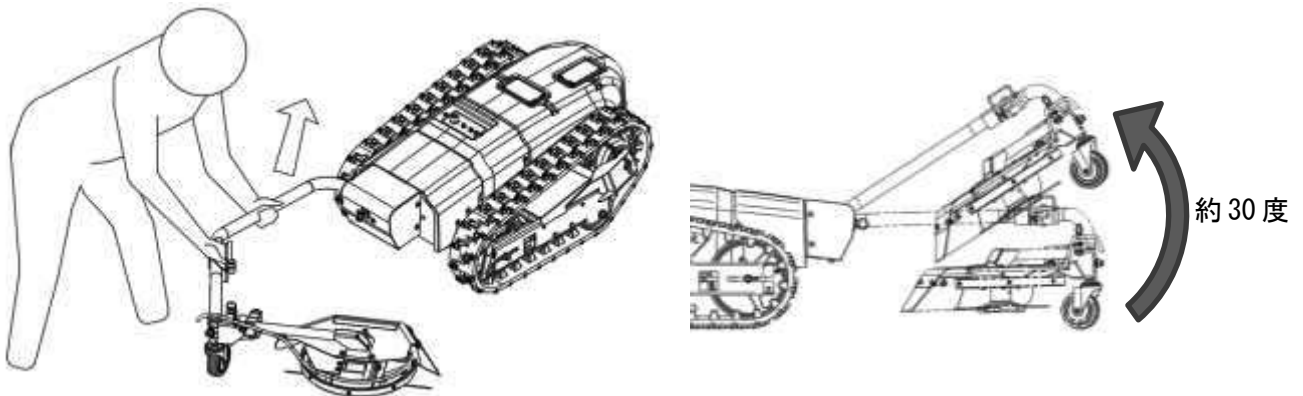
際刈リアタッチを取り付けた際は右刈刃スイッチが内回転位置、左刈刃スイッチが停止位置になっているか確認してください。また、旋回スイッチも基本的に超信地旋回位置になっているか確認してください。



⑤ 折りたたみ時の刈刃停止リミットスイッチ

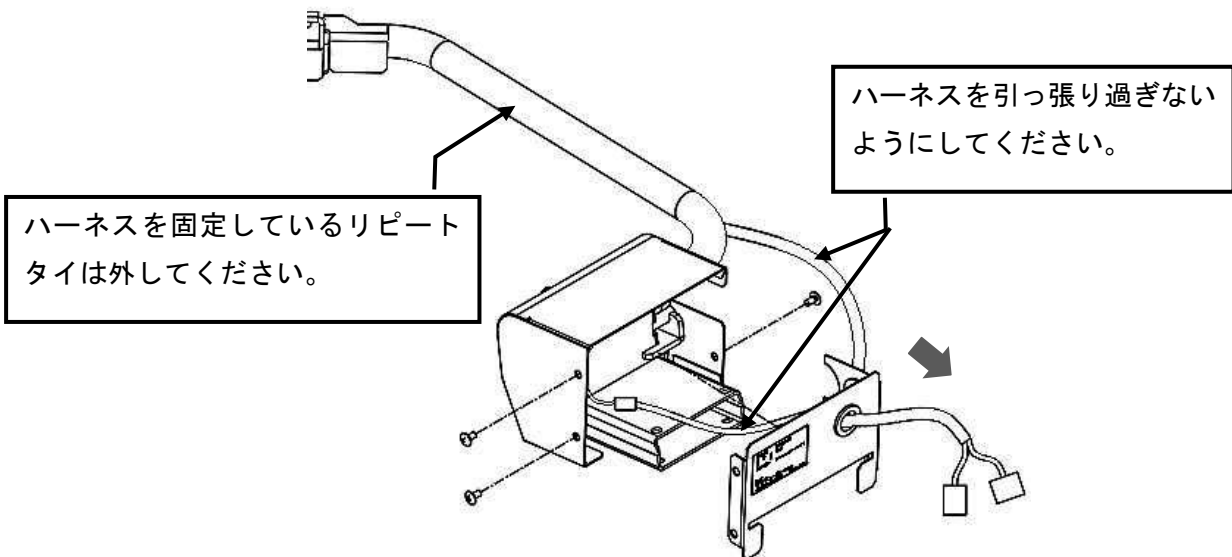
本機には折りたたみ時に刈刃が回転しないようパイプフレームが一定の角度以上になると刈刃が停止する機能があります。

機能確認の際は開けた場所でスマモのリフト上下スイッチを操作し、際刈リアタッチが下がった状態で刈刃回転スイッチを一度押し、回転することを確認したのち十分に安全を確認しながらハンドルをつかみゆっくりとパイプフレームを折りたたんでください。約30度程度持ち上げ、モータが停止することを確認してください。モータ停止後すぐに刈刃を下げると回転が再開しますので確実に停止するまではパイプフレームを下げないでください。モータ停止後は一度本体とコントローラの電源をOFFにしてください。



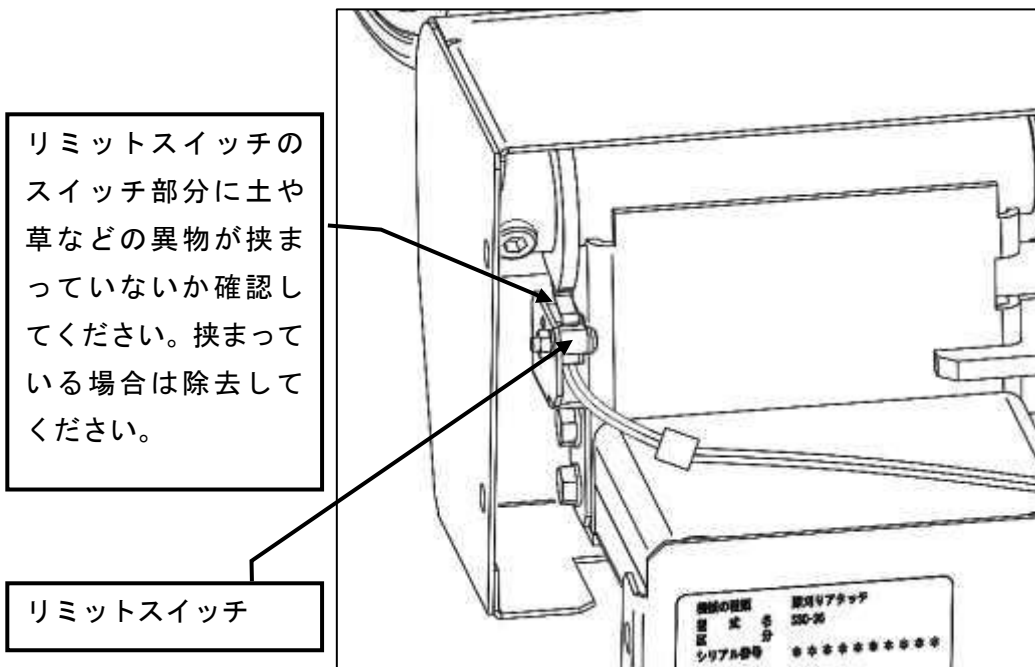
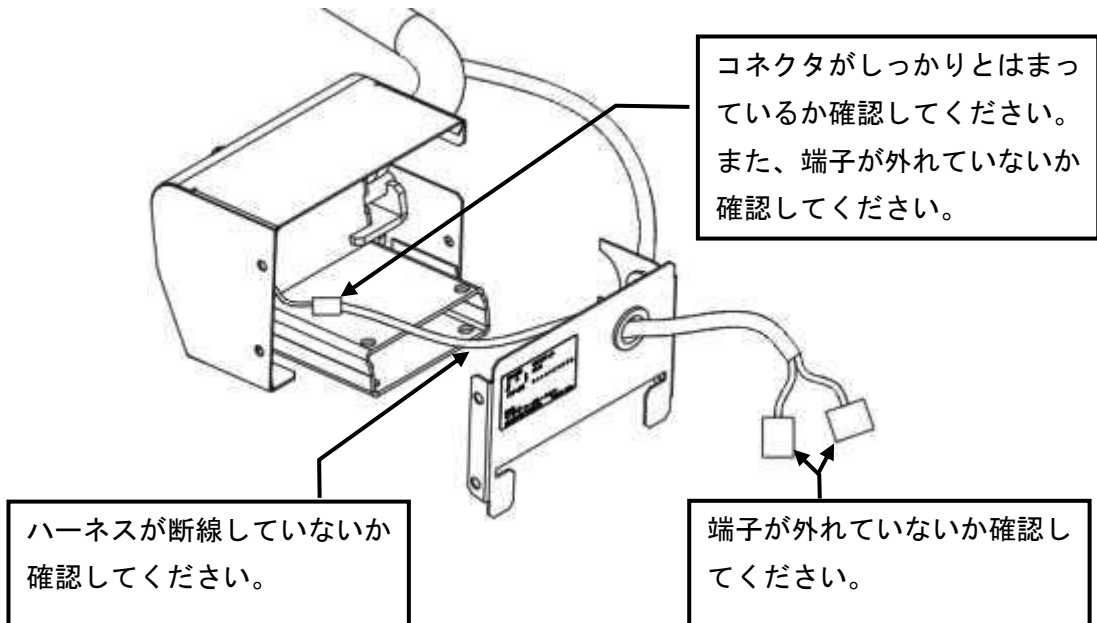
万が一、停止しないなどの状況が発生した場合は以下の方法でカバーを外し、リミットスイッチの状態を確認できます。以下の方法を実施できない場合は販売店へご相談ください。

①図の位置のビス3か所を取り外し、カバーを外してください。カバーを外す際はハーネスを引っ張り過ぎないようにしてください。



②ハーネスの断線、コネクタの外れ、端子の抜け、リミットスイッチのスイッチ部分に異物が挟まっているかを確認してください。

断線等が発生している場合はご購入の販売店までご連絡ください。



③確認後は逆の手順で元の状態に戻してください。戻す際にハーネスをカバーに挟まないようご注意ください。

■ 消耗部品の確認

- ①～③ スカート 1, 2, 3
→切れや破れの発生及びカバーからの長さが60mm以下になった場合交換してください。

- ④：サイドスカート
→切れや破れが発生した場合交換してください。

- ⑤：後進破損防止シャーボルト
→後進による衝突及びスイング動作を長期間繰り返すことで折損した場合、交換してください。
(9セット付属します)

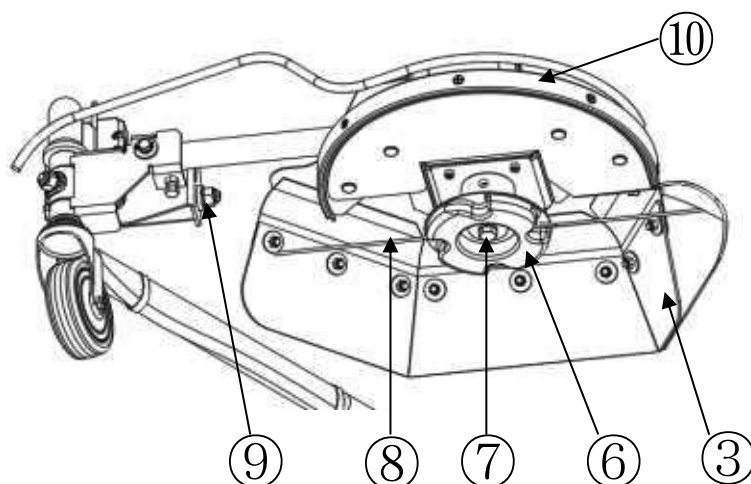
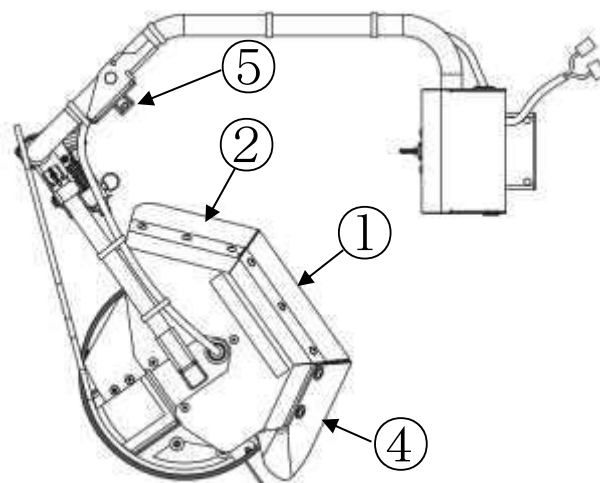
- ⑥：ナイロンコードカッター
→削れて穴が開いたり、ひび割れ、変形した場合交換してください。

- ⑦：M10左ボルト
→削れが発生し、17mmのスパナ・ソケットでつかみにくくなった場合交換してください。

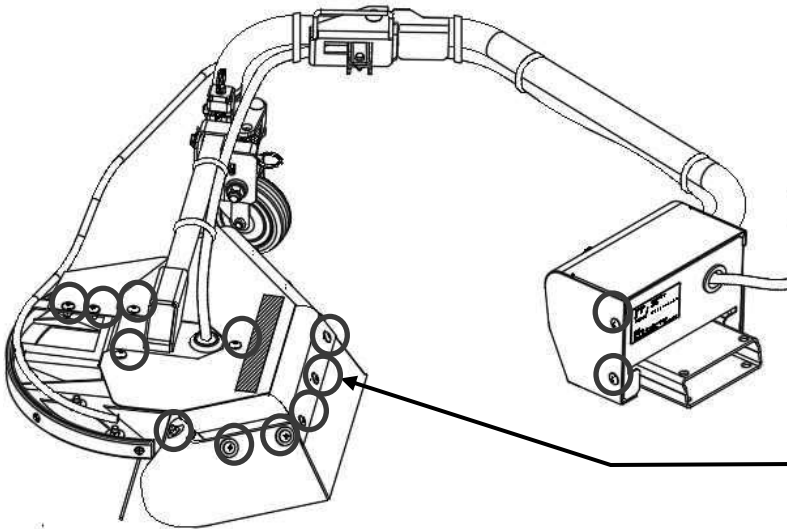
- ⑧：ナイロンコード
→市販のナイロンコードをご使用可能です。
ただし、ご使用の際は直径2.4mmで断面が丸形状の物をご使用ください。指定外の材質、表面形状、断面形状及び直径のコードを使用した際の不具合等は補償の対象外となります。

- ⑨：ゴムクッション
→厚さが2mm以下になった場合や潰れや割れが発生した場合、交換してください。

- ⑩：樹脂プレート
→固定用サラビスの頭が樹脂プレート表面より出てくる程度まで摩耗した場合、交換してください。



■各部締め付け



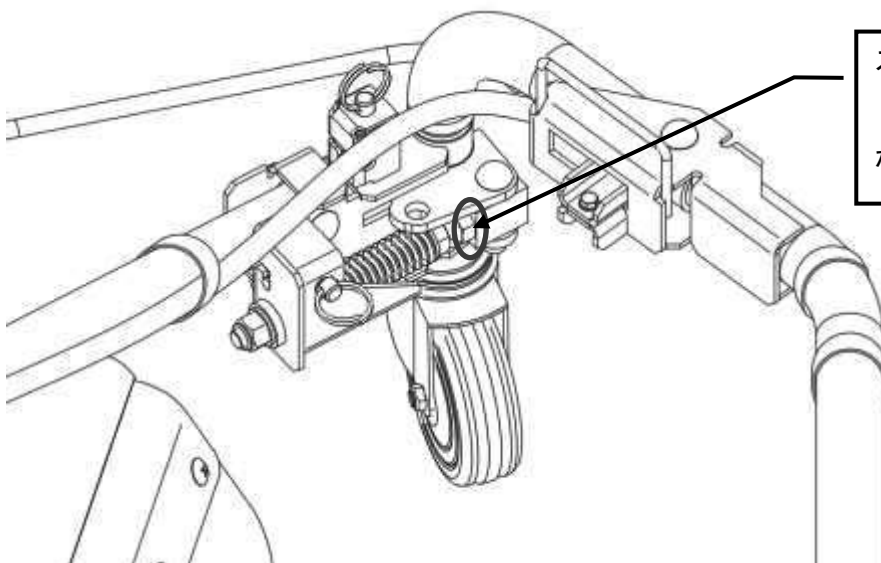
機体表面に見えるトラス小ネジは各種に緩みがないか確認してください。特にカッターカバー周りは各スカートと共締めしてあるため、緩むとスカートの外れ・破損に繋がります。

樹脂プレート固定皿ビスに緩みがないか確認してください。
(全5か所)

ナイロンカッター取り付け部のM10左ボルトに緩みがないか確認してください。

スイング支点部のM10ナイロンナットに緩みがないか確認してください。

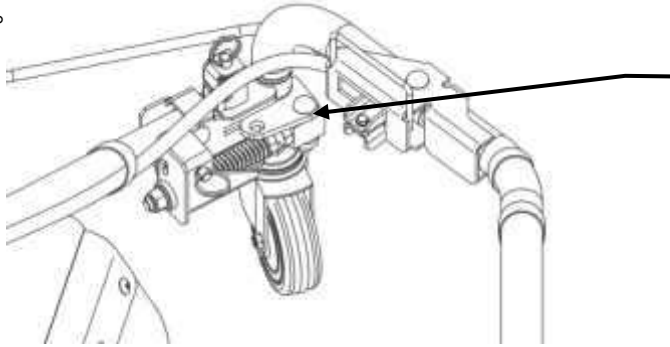
刈刃高さ調整ボルト部のM8固定ナットに緩みがないか確認してください。



スイング用バネのガイドロッド固定用ナットに緩みがないか確認してください。

■ピン・シャフト類へのグリス塗布

※刈刃回りやキャスター回り、バネ周りはグリス塗布不要です。グリスを塗布すると土の付着の原因となります。



スイング用バネのガイドロッド支点ピンを抜き、ピン表面にグリスを塗布し再度組み付けてください。

■ナイロンコードカッターの取り外し・ナイロンコードの交換

以下の手順でナイロンコードカッターを取り外すことができます。

ナイロンコードの交換はナイロンコードカッターを本機から取り外して行うようにしてください。

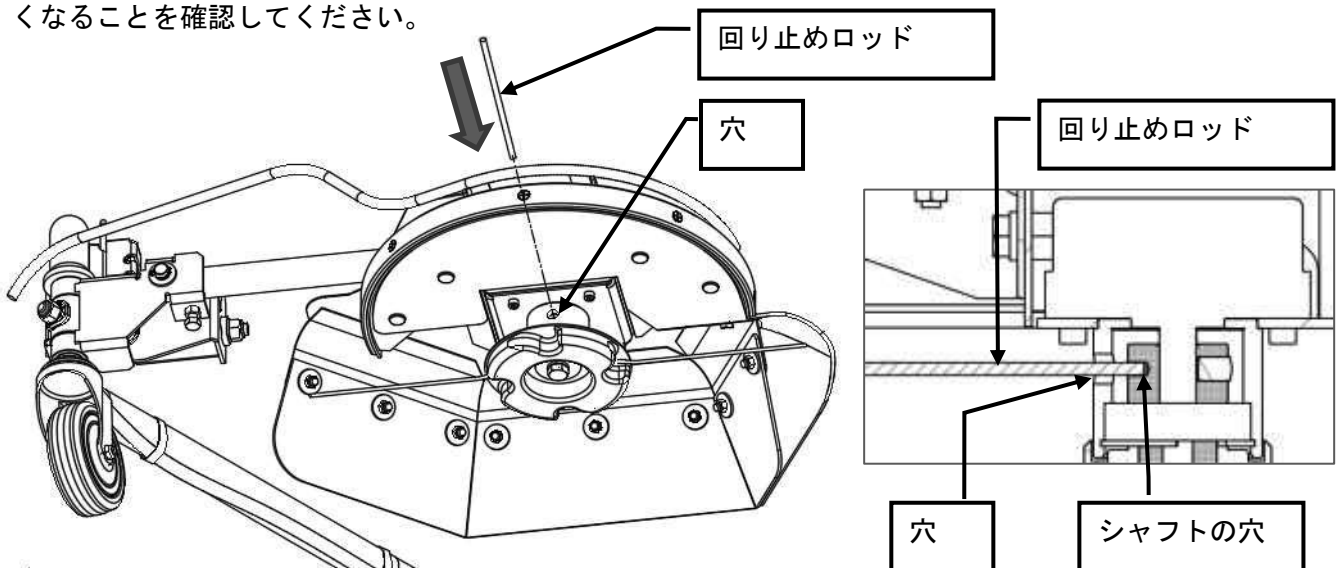
M10左ボルトを緩める・締める際は付属のスパナをご使用ください。

また、ボルトの締め付けや緩める際に使用する回り止めロッドは、穴から抜けないように挿すだけにしてご使用ください。スパナと回り止めロッドをつかみながらボルトの締め付け・緩めを行うと回り止めロッドが曲る恐れがあります。

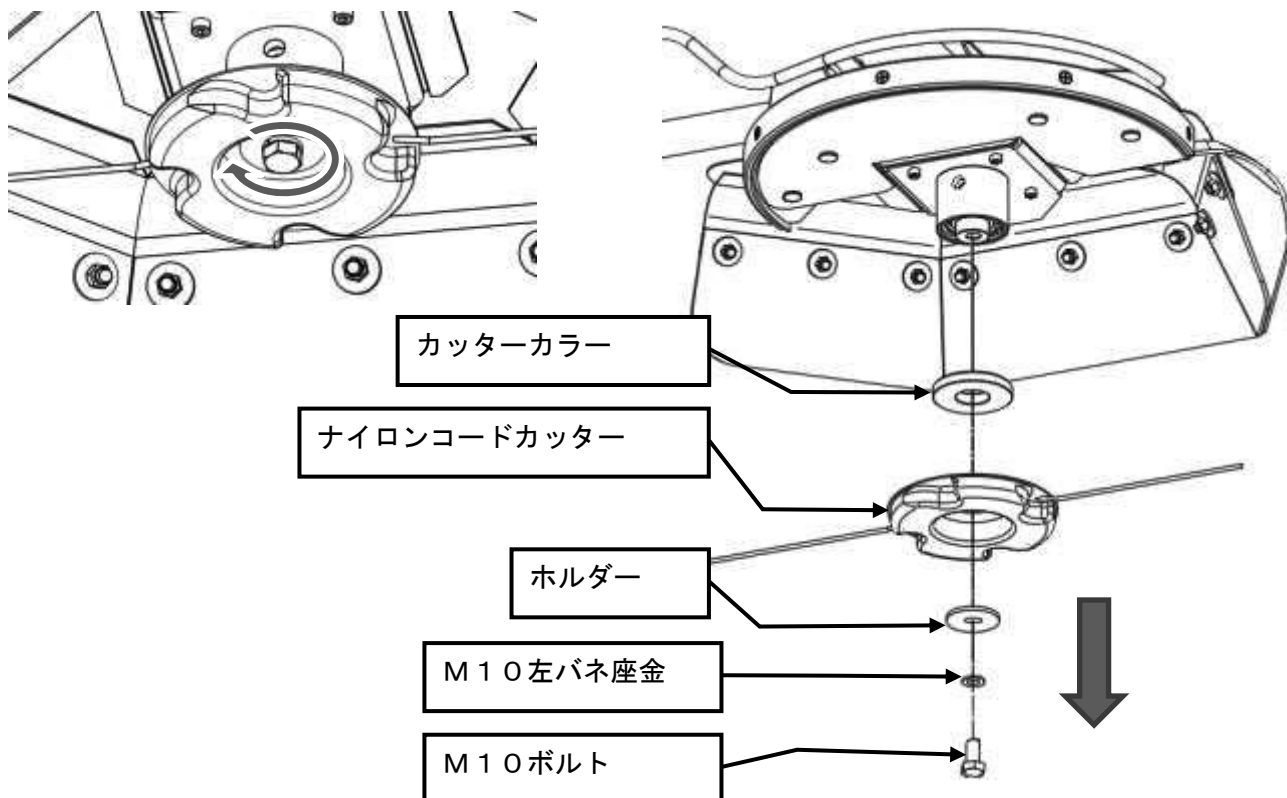
★ナイロンコードカッターの取り外し

①回り止めロッドを下図のようにカッター軸部側面に空いている穴へ差し込んでください。

内部のシャフトに回り止め用の穴が開いているためナイロンコードカッターをゆっくり回して穴を探り、しっかりとシャフトの穴までロッドが挿入され、手でナイロンコードカッターを回しても動かなくなることを確認してください。

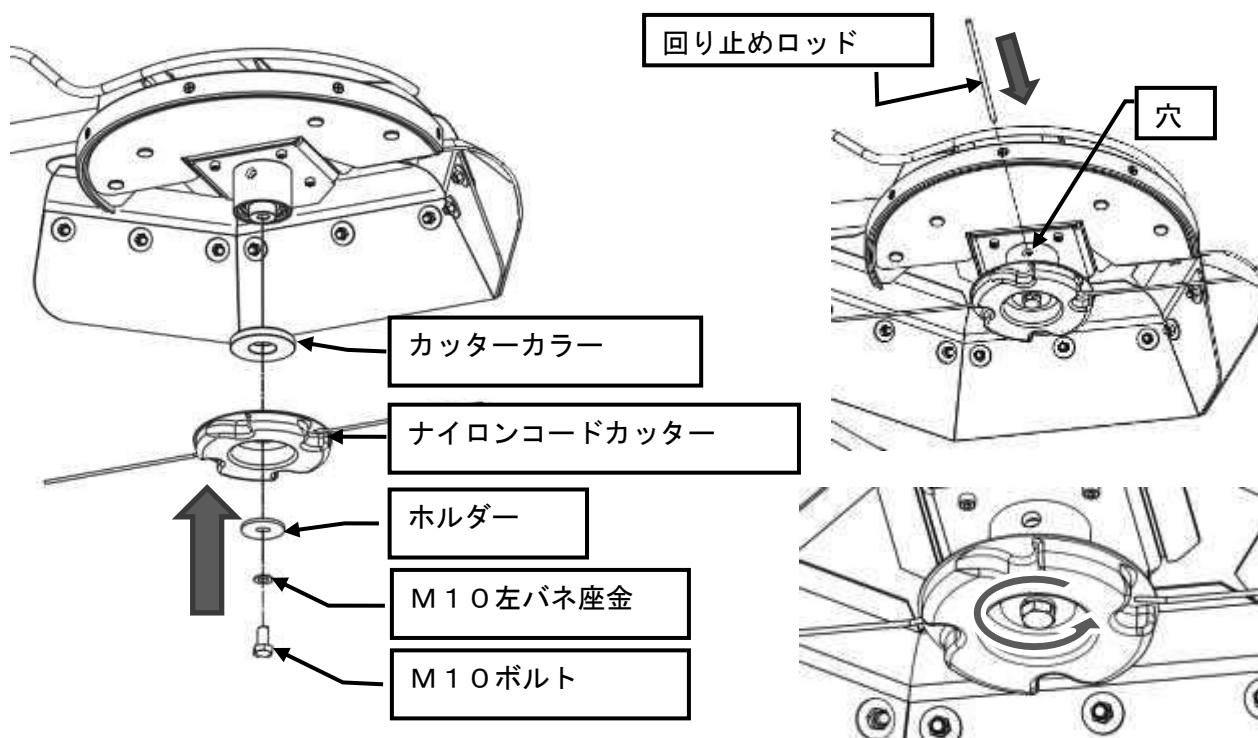


②M10左ボルトを時計回りに回して緩め、ナイロンコードカッターを取り外してください。
この時、外れた各部品を無くさない様に注意してください。



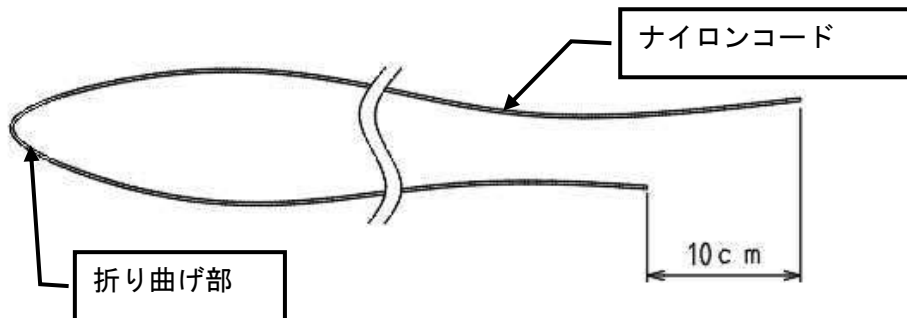
★ナイロンコードカッターの組付け

①下図の順番で組付け、M10左ボルトを反時計回りに回して締め付けてください。この時、偏心取付にならない様に注意してください。本締めの際は取り外し時と同様に回り止めロッドをシャフトの穴までしっかりと挿入した後に締めつけてください。

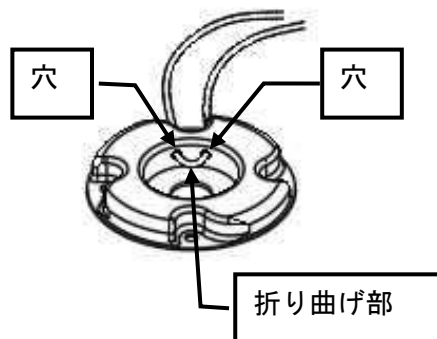


★ナイロンコードの交換

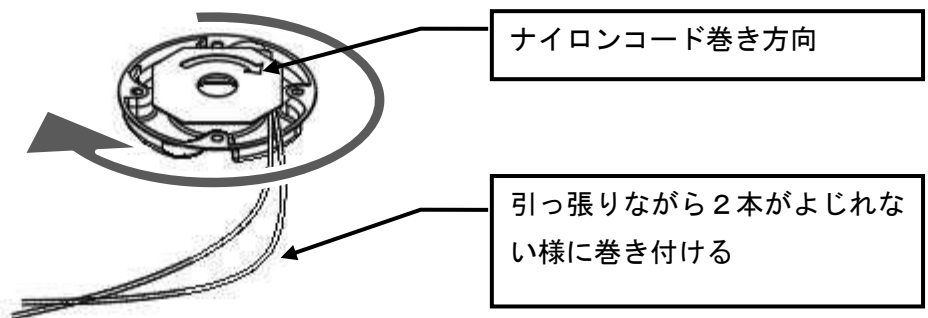
①新しいナイロンコードを4mの長さに切り、下図のように両端を約10cm程度ずらして2つ折りしてください。



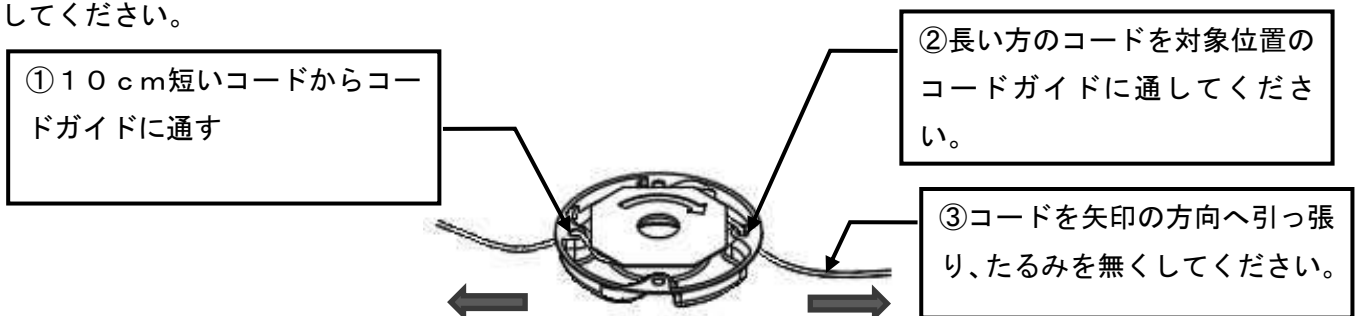
②本体内側に空いている2つの穴に下図のようにナイロンコードを通してください。



③裏返し、本体へナイロンコードを巻き込んでください。巻き込む際はナイロンコード同士がよじれない様に矢印の方向にナイロンコードを引っ張りながら、しっかり巻いてください。



④コード巻き込み後、10cm短い方のコードからコードガイドに通し、もう一本の長い方のコードを半周巻き、対象位置のコードガイドに通してください。最後に2本のコードを引っ張ってたるみを無くしてください。



運搬するとき

■ トラック等への積み降ろし

アユミ板を使つてのトラックへの積み降ろし

注意

- ・積み降ろしは平坦な場所で行ってください。
- ・使用するアユミ板は本機の重量＋作業者の体重に耐えられる物を使用してください。
- ・アユミ板は接地した際に 20° 以下の角度になる長さの物を使用してください。
例：軽トラックの場合 2100mm(7 尺)で約 18 度の角度になります。
- ・アユミ板の上で微調整以外の旋回動作は行わないでください。落下によるけがや機体の破損につながります。

本体の総重量はバッテリー1 個時 約 109 kg、バッテリー2 個時 約 121 kg

(積み込み手順)

- ① アユミ板の幅を、クローラの幅に合わせてください。(外幅で約 578 mm)
- ② ユニット部を最大まで上げ、前進で速度を最大 30%にし、アユミ板を上ってください。
アユミ板へ完全に機体に乗ったのちに、ユニット部を最大まで下げゆっくりと荷台まで前進してください。
- ③ 本機がトラック等に完全に乗り、位置調整をしたら本体とコントローラの電源を切ってください。

(降ろす手順)

- ① アユミ板の幅を、クローラの幅に合わせてください。(外幅で約 578 mm)
- ② ユニット部を最大まで上げ、後進で速度を最大 30%にし、アユミ板を下ってください。

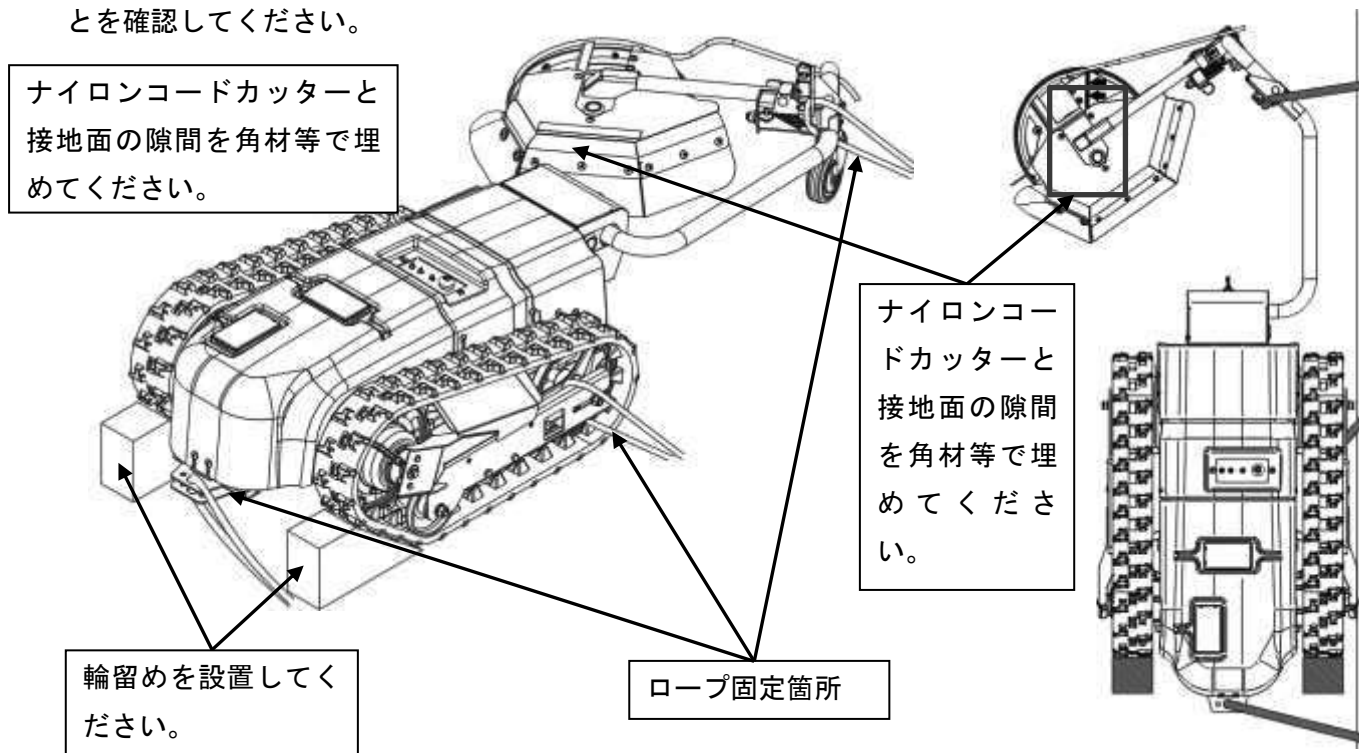
注意

アユミ板の上での停車はしないでください。万一、停止した場合はアユミ板の側面側から後部取り付け部や際刈りユニットのパイプフレーム部を手で支えてください。支える時はクローラを支えないでください。挟まれてケガをする恐れがあります。停止後、本機が空走する事がありますので、十分注意してゆっくりアユミ板から降ろしてください。
電源を再び入れる際は、必ず平坦なところで行ってください。

■ ロープによる固定方法

トラック等に積載したら本体とコントローラの電源を切ってください。電源が切れていることを確認した後、ロープ等で固定し、輪留めを設置してください。

また、バッテリーを装着したまま積載する場合は、バッテリーがゴムバンドで確実に固定されていることを確認してください。



※ロープによる固定は過度な力をかけない様にしてください。機体が遊ばなくなる程度の力で固定するようにしてください。際刈リアタッチ部はロープ固定の際に刈刃モーターハーネスがロープと機体の間に挟まらないようにハーネスをずらしてください。

※不整地を走るような状況の場合はバッテリーを本体から降ろして運搬してください。

※トラック等から機体を降ろす際は必ず本体やコントローラの電源が入っていない状態でロープや輪留めを外してください。

※ロープがスマモ本体の樹脂カバーに当たらない様にしてください。破損の原因になります。

※クローラにロープ固定しないでください。クローラの変形・外れの原因になります。

※際刈リアタッチバタつき防止の為、パイプフレーム部にロープをかけ下方向に引っ張る形で固定してください。

▲注意

運搬時はカバーがしっかりと本体に固定されているか確認してください。

強風や走行速度によってはバッテリーカバーやジョイントカバーが飛ぶ可能性が有ります。公道走行時はカバーが飛ばないようにバンド固定や、機体全体をシートで覆う、カバーを外して車内に保管するなどの措置を実施してください。

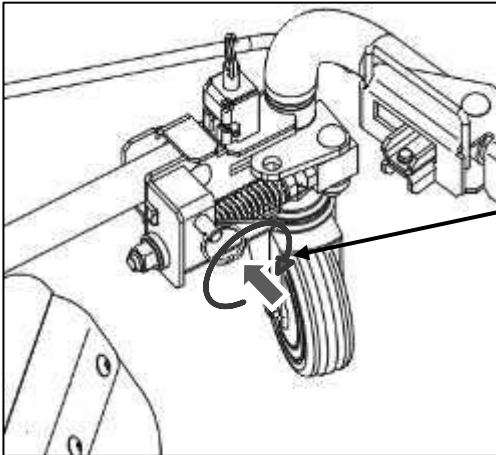
万が一、カバーを紛失された場合は早急に販売店へご注文ください。

保管するとき

倉庫等に保管するときは際刈リアタッチを折りたたんでコンパクトに保管することが可能です。
以下に折りたたみ・開く手順を記載いたします。

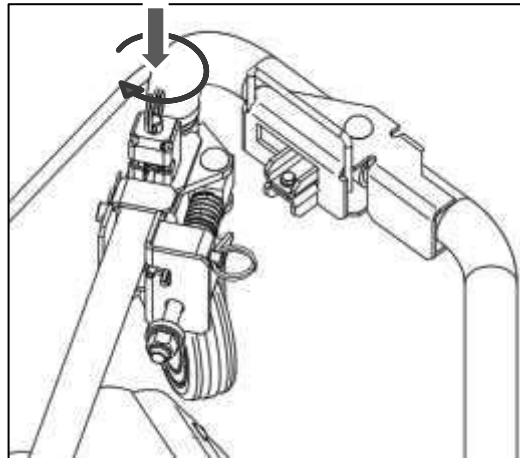
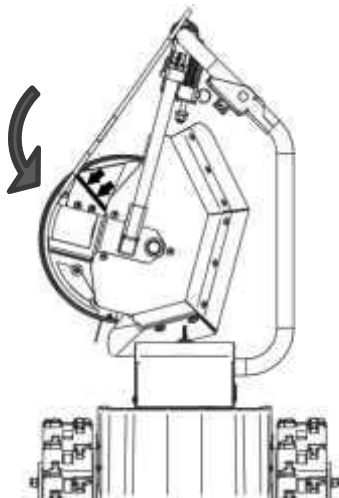
●折りたたむとき

①格納ロックピン3を差し込み、刈部が上下しなくなることを確認してください。

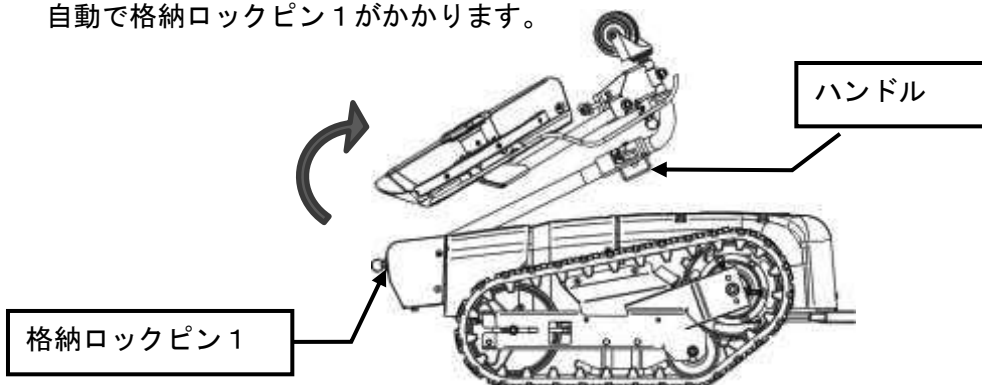


軽く引っ張りながら図の方向にひねると切欠きからスプリングピンが外れます。外れたらそのままピンを挿しこんでください。刺さらない場合は軽く刈部を上下に動かし、しっかりとピンが最後まで刺さるように調整してください。

②刈部を目一杯スイングした状態をキープし、格納ロックピン2を差し込んでください。

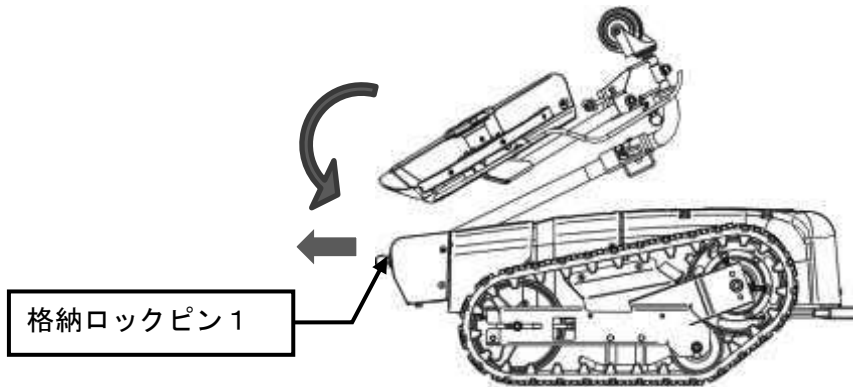


③ハンドルを握りゆっくりと際刈リアタッチを折りたたんでください。最後まで折りたたむと自動で格納ロックピン1がかかります。

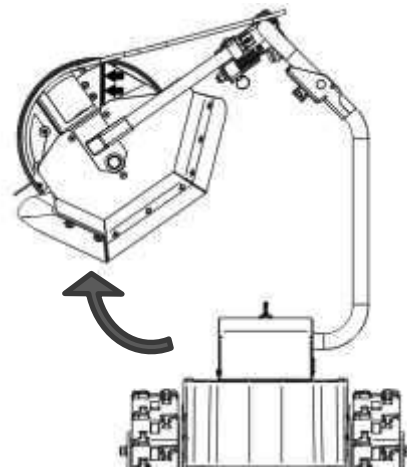
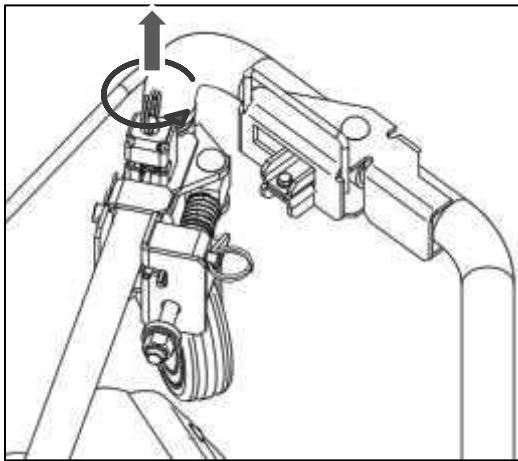


●草刈り作業状態に開くとき

①格納ロックピン1を引っ張りながらゆっくりと際刈リアタッチを開いてください。ピンが抜きにくい場合は一度軽く際刈リアタッチを持ち上げながらピンを引き抜いてください。

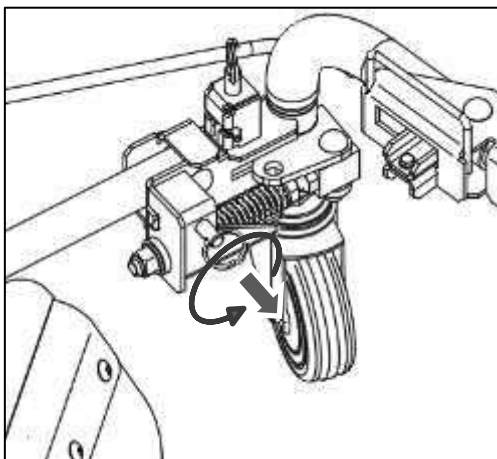


②格納ロックピン2を解除し刈部を開いてください。ピンが抜きにくい場合は一度軽く刈部を折りたたみ方向に押し込みながらピンを引き抜いてください。



③格納ロックピン3を解除し刈部上下規制を解除してください。

ピンがぬきにくい場合は軽く刈部を持ち上げながらピンを引き抜いてください。



長期間使用しないとき

作業シーズンが終わり長期間保管する時は、次の手入れ・保管を行ってください。

① 機体の清掃

汚れがひどくない時は水拭きで清掃してください。
水洗いの方法は⇒P. 33を参照してください。

② 各部締め付け

ボルト、ナット、ビスなどが緩んでいないか確認してください。

③ 機体のグリスアップ

注油箇所は⇒P. 39を参照してください。

④ 機体の保管

本体の保管は水平で雨、風、直射日光の当たらない場所へ本機を止め、バッテリーを取り外し保管してください。

⑤ バッテリーの保管

長期保管の際は、電源コネクタを抜いて、バッテリーを本体から外し、保管してください。
※バッテリーの長期保管方法は「リモコン作業機スマモ」の取扱説明書記載の「バッテリーを安全にお使いいただくために」(⇒P. 9)を必ず参照してください。

※コントローラのバッテリーの長期保管方法は「リモコン作業機スマモ」の取扱説明書記載の「コントローラを安全にお使いいただくために」(⇒P. 15)と「リモコン作業機スマモ」に付属している「Li-Po 電池を使用する際の注意事項」を必ず参照してください。

以上の項目を必ず参照して、3ヵ月ごとに補充電を行ってください。

トラブルシューティング

万一不具合の時は、早めにお買い上げ販売店で点検整備してもらうことが、長持ちさせる秘訣です。

症状	原因	対処法
バッテリーの電源を入れたが電源ランプ(橙色)及び緑色のランプが点灯しない。	・バッテリーが本体に接続されていない可能性があります。	バッテリーのコネクタを本体側のコネクタにしっかりと接続し、再度電源を入れてください。
	・バッテリーのヒューズ切れの可能性があり ・配線抜け・断線の可能性があります。	コネクタを接続しても点灯しない場合は、ヒューズ切れや配線抜け・断線の可能性があります。お買い上げの販売店へご連絡ください。
走行トリガーを操作しても走らない。	クローラに異物が挟まっている可能性があります。	クローラに異物が挟まっていないか確認してください。
	速度調整ボリュームが0~15%程度になっている可能性があります。	速度調整ボリュームの数値を上げ、走行ができるか確認してください。
	走行モータのコネクタ抜けの可能性があり 配線抜け・ショート・断線の可能性があります。	走行モータのコネクタが繋がっているか確認してください。確認箇所はスマモ本体付属の取扱説明書「点検・整備方法と確認箇所」(⇒P. 47)の項をご確認ください。 外れている場合は接続してください。 上記項目を確認しても動かない場合は配線抜け・ショート・断線の可能性があります。お買い上げの販売店へご連絡ください。
超信地旋回(その場旋回)ができない。	設定スイッチが操作されています。	設定スイッチの操作に関しては⇒P. 19を確認しスイッチを指定の位置にしてください。
リフト部が昇降できない。	リフト部まわりに草や砂利等が詰まっている可能性があります。	リフト部の昇降を阻害している異物を除去してください。
	配線抜け・ショート・断線の可能性があります。	異物の挟まりなどもなく、リフトモータが動かない場合は、配線抜け・ショート・断線の可能性があります。お買い上げの販売店へご連絡ください。




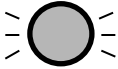


症状	原因	対処法
コントローラのディスプレイがトップ画面以外の画面表示になっている。	誤ってマルチセクターを操作した可能性があります。	バックボタンを数回押すとトップ画面に戻ります。
走行時・作業時に徐々に片側に曲がっていく。	左右クローラの回転速度が一致していない可能性があります。	クローラのテンションが左右で同程度になっているか確認してください。また、クローラに土や草などの異物が挟まっていないか確認してください。特に砂利のある場所で旋回すると転輪と本体の隙間に石が挟まり転輪が回らなくなる場合があります。石が挟まっている場合は除去してください。走らせた際に転輪がしっかりと回っているか確認してください。クローラのテンション調整や異物除去をしても曲がる場合はコントローラの左右速度微調整スイッチを操作し直進するよう設定してください。調整方法はスマモ本体付属の取扱説明書の「運転方法」(⇒P. 31)の項を参照してください。
刈刃の回転が不安定・遅い場合	異物が挟まっている可能性があります。	刈刃の回転軸に絡まっている草や、挟まっている土・砂利を除去してください。また、異物除去後に刈刃を手で回してスムーズに回るかを確認してください。
	配線抜け・ショート・断線の可能性があります。	上記項目を確認したが改善しない場合は、配線抜け・ショート・断線の可能性があります。お買い上げの販売店へご連絡ください。 スマモ本体と際刈リアタッチのジョイント部分にあるコネクタ(⇒P. 16参照)の各配線を軽く引っ張り、コネクタから端子が抜けかけていたり、外れたりしていないか確認し、端子外れ等があった場合は、その状態もお買い上げの販売店へお伝え願います。

■ 異常診断機能







機体及びバッテリーに異常が発生した場合、ランプの点灯パターンや点滅によりエラー箇所の推測ができます。点灯・点滅内容を確認したのちに電源スイッチを速やかに切ってください。

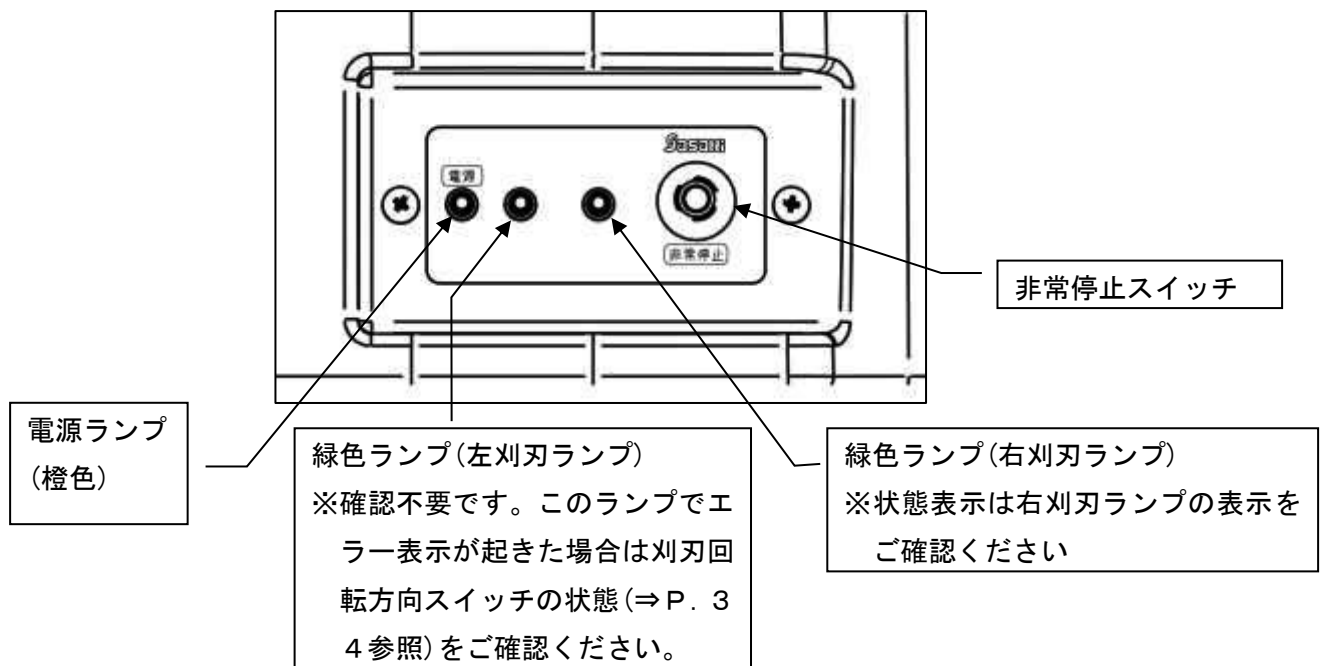
点灯・点滅内容に応じた対処法を行う場合は必ず本体の電源を切ったのちに実施してください。

電源ランプエラー表示一覧(橙色)

ランプの状態	原因	対処法
 消灯	バッテリー電源を ON にしたとき、緑のランプが点灯するが電源ランプが消灯している場合は非常停止スイッチが押されています。	非常停止スイッチを解除してください。  非常停止スイッチ解除後も消灯のままの場合はスイッチの接点不良や断線の可能性があるため、お買い上げの販売店へご連絡ください。
 2回点滅	① コントローラの電源が入りません。 ② コントローラの電源を入れる際にスイッチに触ったまま電源を入れています。 ③ コントローラの刈刃回転スイッチが押されています。	① コントローラの電源を入れてください。 ② コントローラのスイッチ類に触れずに電源を入れてください。 ③ 刈刃回転スイッチをもう一度押し回転指示を切るか、コントローラの電源を一度切り、再度電源を入れてください。
 3回点滅	刈刃低回転異常です。	本体電源を切り刈刃回りの草や異物がある場合は取り除いて2～3分放置後、再度電源を入れてください。
 4回点滅	電源が入っている状態で刈刃を回転させた後、設定スイッチを操作して刈刃回転方向を変えてしまった。	一度本体の電源を切り再度電源を入れてください。 この時刈刃回転スイッチを押したままの状態になっている場合2回点滅が発生します。その際は刈刃回転スイッチをもう一度押し回転指示を切るか、コントローラの電源を一度切り、再度電源を入れてください。
 5回点滅	刈刃関係エラー	刈刃ランプのエラーです。次のページの刈刃ランプエラー表示一覧を確認し、適切な処置を行ってください。

刈刃ランプエラー表示一覧(緑色)

ランプの状態	原因	対処法
 点滅 → 点灯	刈刃モータの高温異常です。	本体電源を切り刈刃回りの草や異物がある場合は取り除いて2～3分放置後、再度電源を入れてください。
 2回 点滅	刈刃モータの過電流異常です。	本体電源を切り刈刃回りの草や異物がある場合は取り除いて2～3分放置後、再度電源を入れてください。
 3回 点滅	刈刃ドライバーの高温異常です。	本体電源を切り刈刃回りの草や異物がある場合は取り除いて2～3分放置後、再度電源を入れてください。
 4回 点滅	① モータへの結線異常及び設定スイッチの設定が違う可能性があります。 ② 刈刃モータ回転開始時の回転異常の可能性が あります。 ③ 折りたたみ時の刈刃停止リミットスイッチが利いている。コネクタが外れている。断線している。スイッチ部に異物が挟まっている。	① 際刈リアタッチとスマモ本体の接続部付近にあるコネクタがきちんと接続されているか確認してください⇒P. 16参照。また、設定スイッチが正常な位置になっているか確認してくださいP. 19参照。 ② 本体電源を切り刈刃回りの草や異物がある場合は取り除いて2～3分放置後、再度電源を入れてください。 ③ 折りたたみ時に安全の為刈刃が回らなくなるようにリミットスイッチが付いています。(⇒P. 35参照) 折りたたみ時に刈刃回転スイッチを押すと安全制御が働きエラーが発生します。その際は一度機体とコントローラの電源を入れなおしてください。通常の走行が可能になります。※折りたたみ状態で再度刈刃回転スイッチを押すと同じ状態になります。 折りたたんでいない状態(草刈作業状態)でこのエラーが発生した場合は上記①、②に加え、リミットスイッチ部の断線やコネクタの外れ、スイッチ部への異物の挟まりが無いかがご確認ください。 確認方法⇒P. 35参照
 5回 点滅	電源電圧不足です。	バッテリーと接続されている赤いコネクタ内部の端子が外れていないか確認してください。
 6回 点滅	過電圧異常です。	バッテリーの出力電圧異常の可能性が あります。 お買い上げの販売店へご連絡ください。



※上記表記載の対処法を実施しても状態が回復しない場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

消耗部品一覧

本製品は使用に当たり消耗していく部品があります。作業前や作業終了後には各部品確認を行い目安よりも減っている部品がある場合交換をしてください。

また、下記一覧に記載していない部品で破損や紛失をした際はお買い上げの販売店へ早急に注文をお願い致します。交換目安は「点検・整備方法と確認箇所」(⇒P. 32)の項をご確認ください。

本誌記載名	正式品名	品番	個数/台
スカート1	ゴム1	U722525000	1
スカート2	ゴム2	U722526000	1
スカート3	ゴム3	U722527000	1
サイドスカート	サイドスカート	U722532000	1
後進破損防止シャーボルト	ボルト	01010-05016	1
	ヒラザガネ	01740-05000	2
	ナットSW	01560-05000	1
ナイロンコードカッター	ナイロンカッター	U722911000	1
M10左ボルト	ロックボルト(L)	01062-10020	1
ゴムクッション	ゴムワッシャU	U722631000	1
樹脂プレート	ジュシプレート	U722528000	1

★ナイロンコードカッターは純正部品をご注文いただきご使用ください。

★各部品において、純正部品以外の組付け・使用による不具合や破損は補償対象外となります。

主要諸元

名称	電動リモコン作業機スマホ専用 際刈リアタッチ
型式	SSC-30
全長 (mm)	895 本体装着時 : 1768
全巾 (mm)	758 本体装着時 : 863
全高 (mm)	359
刈幅 (mm)	340mm
重量 (Kg)	際刈リアタッチ単体 : 17.5
本体積載時	本体装着時=バッテリー1 個時 : 109.5 バッテリー2 個時 : 121.5
刈刃モータ	300W 相当
作業面積 (バッテリー1 個時)	約 400 m ² /h (※1)
作業距離 (バッテリー1 個時)	約 3000m (※2、※4)
作業時間 (バッテリー1 個時)	約 150 分 (※3、※4)
作業角度	最大 30° (本体装着時)

※1 作業面積は速度表示 50% (約 1.5 km/h) 時に刈刃を回転させ草刈り作業を行った際の面積です。
気温や作業環境、草の種類や生え方により前後します。

※2 速度表示 50% (約 1.5 km/h) 時に刈刃を回転させ草刈り作業を行った際の走行可能距離です。
気温や作業環境、草の種類や生え方により前後します。

※3 バッテリー1 個搭載時の平均作業時間です。気温や作業環境、草の種類や生え方により前後します。

※4 バッテリーを 2 個搭載した場合、約 2 倍程度 (バッテリー2 個分) となります。

諸元は改良のため予告なく変更する事があります。ご了承ください。

購入日 _____ 年 月 日

型式 _____

シリアル番号 _____



株式会社

ホームページ <http://www.sasaki-corp.co.jp>

ササキコーポレーション

本社・工場 / 〒034-8618 青森県十和田市大字三本木字里ノ沢1-259	TEL 0176-22-3111 FAX 0176-22-8607
製品窓口 / 〒034-8618 青森県十和田市大字三本木字里ノ沢1-259	TEL 0176-22-0170 FAX 0176-25-3127
部品窓口 / 〒034-8618 青森県十和田市大字三本木字里ノ沢1-259	TEL 0176-25-3170 FAX 0176-25-3171
北東北営業所 / 〒034-0001 青森県十和田市大字三本木字里ノ沢1-75	TEL 0176-23-0354 FAX 0176-23-9655
仙台営業所 / 〒989-1631 宮城県柴田郡柴田町東船迫2-4-11	TEL 0224-58-7780 FAX 0224-58-7782
関東営業所 / 〒329-0201 栃木県小山市栗宮1241-9	TEL 0285-45-8911 FAX 0285-45-8910
新潟営業所 / 〒954-0051 新潟県見附市本所1丁目14番17号	TEL 0258-61-1810 FAX 0258-62-3160
岡山営業所 / 〒702-8002 岡山県岡山市中区桑野110-2	TEL 086-274-9508 FAX 086-274-9510